

小学校の外国語活動に関する現状調査  
《小学校 対象》

調査結果報告

平成 24 年 3 月

財団法人 日本英語検定協会

英語教育研究センター

■ 調査実施概要 および 回答者属性

■ 質問項目

- 問 1. 今年度の外国語(または英語)活動の年間実施時間数について
- 問 2. 4年生以下の外国語活動(国際理解活動など)について
- 問 3. 外国語活動を担当している方(関わっている方)について
- 問 4-1. 外国語活動で使用している教材について
- 問 4-2. 5,6年生の外国語活動における「文字」の扱いについて
- 問 5. 今年度の外国語活動における教員研修への参加について
- 問 6-1. 今年度を実施される教員研修の教材について
- 問 6-2. 今年度を実施される教員研修の指導者について
- 問 6-3. 特に必要と思う研修内容について
- 問 7-1. 外国語活動における児童への評価・調査について
- 問 7-2. 外国語活動における児童の達成度合について
- 問 8. 小学生または児童向けの外部制作のテストについて
- 問 9. 外国語活動に対する保護者の反応について
- 問 10. 年間 35 時間の外国語活動実施のための環境について
- 問 11. 外国語活動において問題や課題であると感じていることについて
- 問 12. 外国語活動必修化導入後の状況について
- 問 13. 外国語活動導入による影響について

## 調査実施概要

### 1. 調査テーマ

国公立小学校における外国語活動に関する現状調査

### 2. 調査対象

全国の小学校(国公立)

### 3. 調査目的

平成 23 年度より小学校高学年に外国語活動が導入されたが、学校現場においてカリキュラムの編成、指導方法、教材の選択などについて、どのような問題を抱えているのか、現状を明らかにする。

### 4. 調査期間

平成 23 年 9 月から平成 23 年 10 月

### 5. 調査方法

送付、回収ともに郵送によるアンケート方式

### 6. 送付数・回収結果

調査対象	送付数	回収数	回収率
国・公立小学校	5,000 件	1,463 件	29.3%

#### (注) 単位表記について

今回の報告書から、パーセント表示した割合の変化を表す数値(差)の単位として「ポイント」を使用することとしました。この単位の正式名称は「パーセントポイント」または「パーセンテージポイント」といい、「ポイント」はその略称で、「パーセントで表された 2 つの数値の差」を示します。本報告書では前年度比較をする場合などに、%値の差の単位として「ポイント」表記をしています。

回答者の属性

(N=1463)

◎都道府県別回答校数

都道府県	回答校数
北海道	78
青森県	31
岩手県	41
宮城県	38
秋田県	24
山形県	31
福島県	32
茨城県	44
栃木県	33
群馬県	23
埼玉県	25
千葉県	37
東京都	38
神奈川県	54
新潟県	34
富山県	25

都道府県	回答校数
石川県	17
福井県	24
山梨県	31
長野県	34
岐阜県	36
静岡県	41
愛知県	61
三重県	32
滋賀県	21
京都府	16
大阪府	43
兵庫県	30
奈良県	21
和歌山県	17
鳥取県	22
島根県	20

都道府県	回答校数
岡山県	33
広島県	31
山口県	22
徳島県	23
香川県	25
愛媛県	27
高知県	23
福岡県	43
佐賀県	30
長崎県	19
熊本県	25
大分県	15
宮崎県	18
鹿児島県	44
沖縄県	24
不明	7

◎ご回答者の職位

(名)

教諭	1172
教頭	63
講師	38
教務主任	34
英語、外国語担当教員	32
主幹教諭	19
教務	12
副校長	12
校長	11
主任教諭	7
期限付講師	6
指導教諭	3
学年担当	2
研究主任	2
国際理解担当教諭	1
A L T	1
管理職	0
その他	3
記述なし	45

◎ご回答学校の規模

(校)

500名以上	568
200～499名	561
200名未満	290
未記入	44

◎ご回答者の年齢

(名)

40歳代	501
50歳以上	356
30歳代	313
20歳代	272
未記入	21

**問1 今年度の外国語（または英語）活動の年間実施時間数について、あてはまるもの1つを選んでください。**

外国語活動の実施時間については、傾向が低学年（1・2年生）、中学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）の3つのグループに分かれ、学年が上がるほど実施時間が増えている。

低学年（1・2年生）の実施時間では「4～11時間」がもっとも多く、両学年とも28%台、次いで「0時間」が両学年とも26%台であり、「1～3時間」が両学年とも20%台で続く。低学年では実施をしていないか、実施しても11時間以下の学校が約3/4を占めていることがわかる。

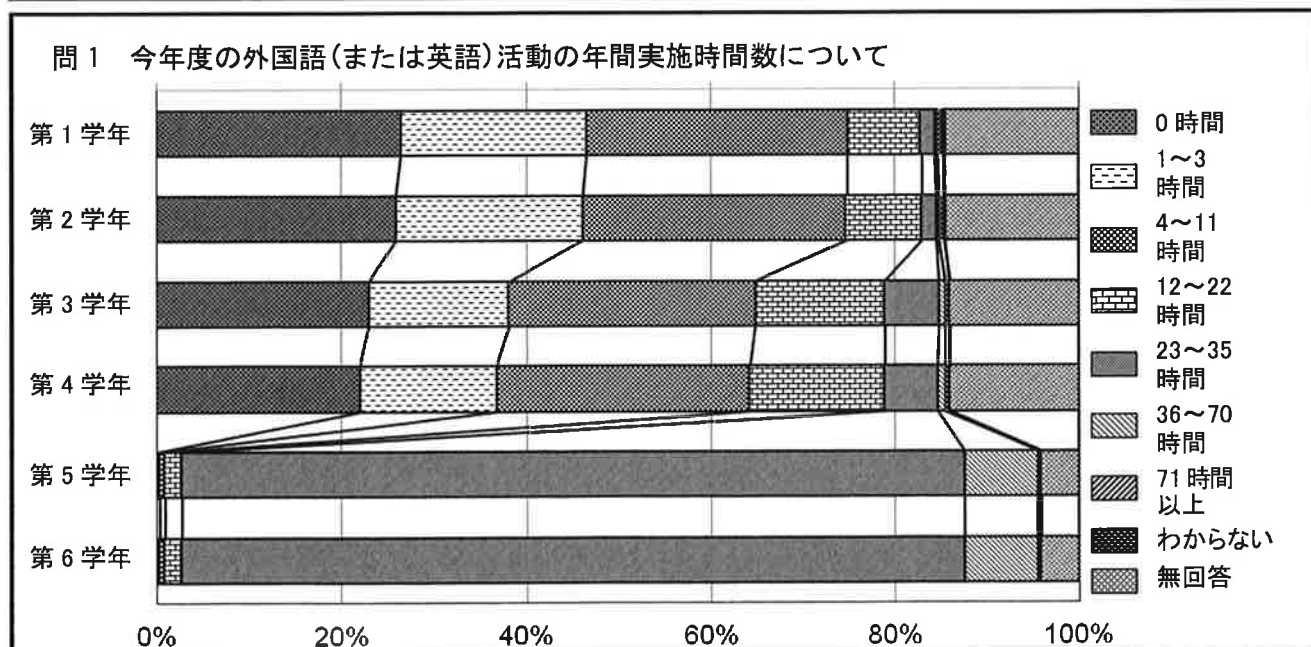
中学年（3・4年生）も、実施時間の最大値は「4～11時間」にあり、3年生26.8%、4年生27.5%であるが、「0時間」が3年生23.0%、4年生22.0%と低学年に比べて少なくなっている。かわりに、「12～22時間」が3年生14.0%、4年生14.6%と低学年に比べ、倍近い実施率を示している。さらに、「23～35時間」も両学年とも6.0%となっている。

高学年（5・6年生）になると、両学年とも「23～35時間」の外国語活動を実施している学校が85.1%、「36時間～70時間」が7.9%となっており、93%の学校が新学習指導要領に基づいた時間数で行っている。

なお、低・中学年の実施時間を前年度と比べると、「0時間」が前年度の19～24%から今年度は22～27%程度に、「1～3時間」が前年度の10～15%から今年度は15～20%程度になっており、2～5ポイント程度上昇している。これに対して時間数の多い項目では、「4～11時間」が前年度の30%超から30%以下になり、「12～22時間」も含めてこれらの数値は2～7ポイント減少している。一方、高学年において最多帯は変わらないものの「23～35時間」「36時間～70時間」とも1～2ポイント上がっている。

これらのことから、外国語活動の必修化にともない、高学年では時間数が増え、低・中学年では抑制する傾向が見られ、新学習指導要領に沿った形で外国語活動が実施されていることがうかがえる。

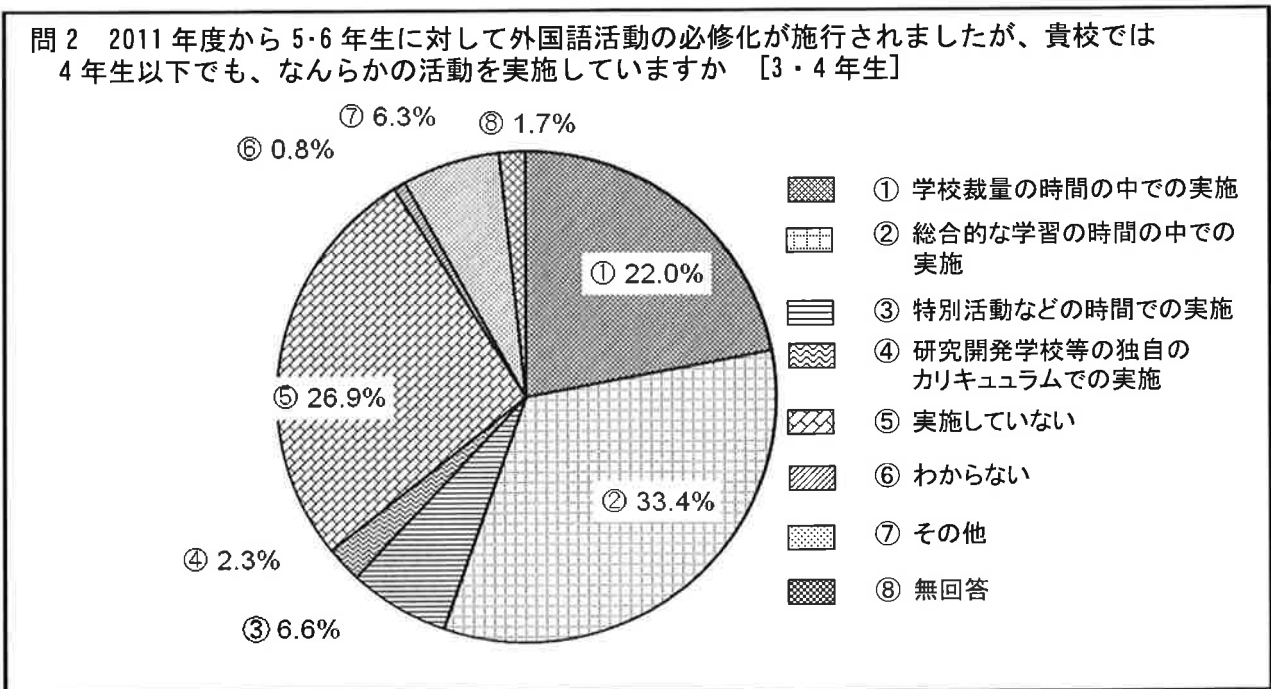
学年	0時間	1～3時間	4～11時間	12～22時間	23～35時間	36～70時間	71時間以上	わからない	無回答	合計
1年	26.6%	20.1%	28.4%	7.9%	1.6%	0.3%	0.0%	0.6%	14.5%	100%
2年	26.0%	20.2%	28.6%	8.3%	1.6%	0.3%	0.0%	0.5%	14.5%	100%
3年	23.0%	15.2%	26.8%	14.0%	6.0%	0.7%	0.0%	0.5%	14.0%	100%
4年	22.1%	14.8%	27.5%	14.6%	6.0%	0.8%	0.0%	0.5%	14.0%	100%
5年	0.0%	0.3%	0.5%	1.8%	85.1%	7.9%	0.3%	0.0%	4.2%	100%
6年	0.0%	0.3%	0.5%	1.8%	85.1%	7.9%	0.3%	0.0%	4.1%	100%



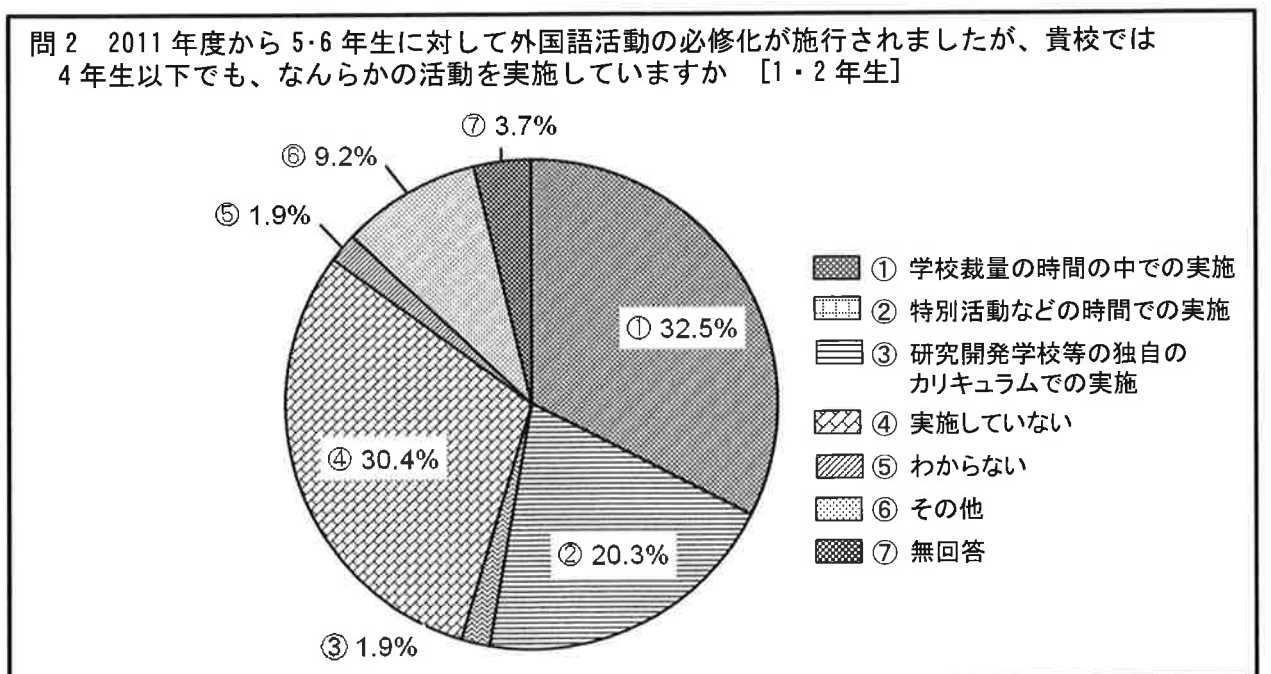
問2 2011年度から5・6年生に対して外国語活動の必修化が施行されましたが、貴校では4年生以下でも、なんらかの活動を実施していますか。実施の有無について、あてはまるもの1つを選んでください。

3・4年生では、「総合的な学習の時間の中での実施」が33.4%で最も多く、以下「学校裁量の時間の中での実施」が22.0%、「特別活動などの時間での実施」が6.6%、「研究開発学校等の独自のカリキュラムでの実施」が2.3%と続き、6割以上の学校で実施していることになる。一方、「実施していない」学校も26.9%と4分の1を占めている。1・2年生では、「学校裁量の時間の中での実施」が32.5%で最も多く、「特別活動などの時間での実施」が20.3%、「研究開発学校等の独自のカリキュラムでの実施」が1.9%で、実施している学校の合計は約55%となり、半数以上の学校が外国語活動を実施していた。「実施していない」は30.4%だった。

[3・4年生]



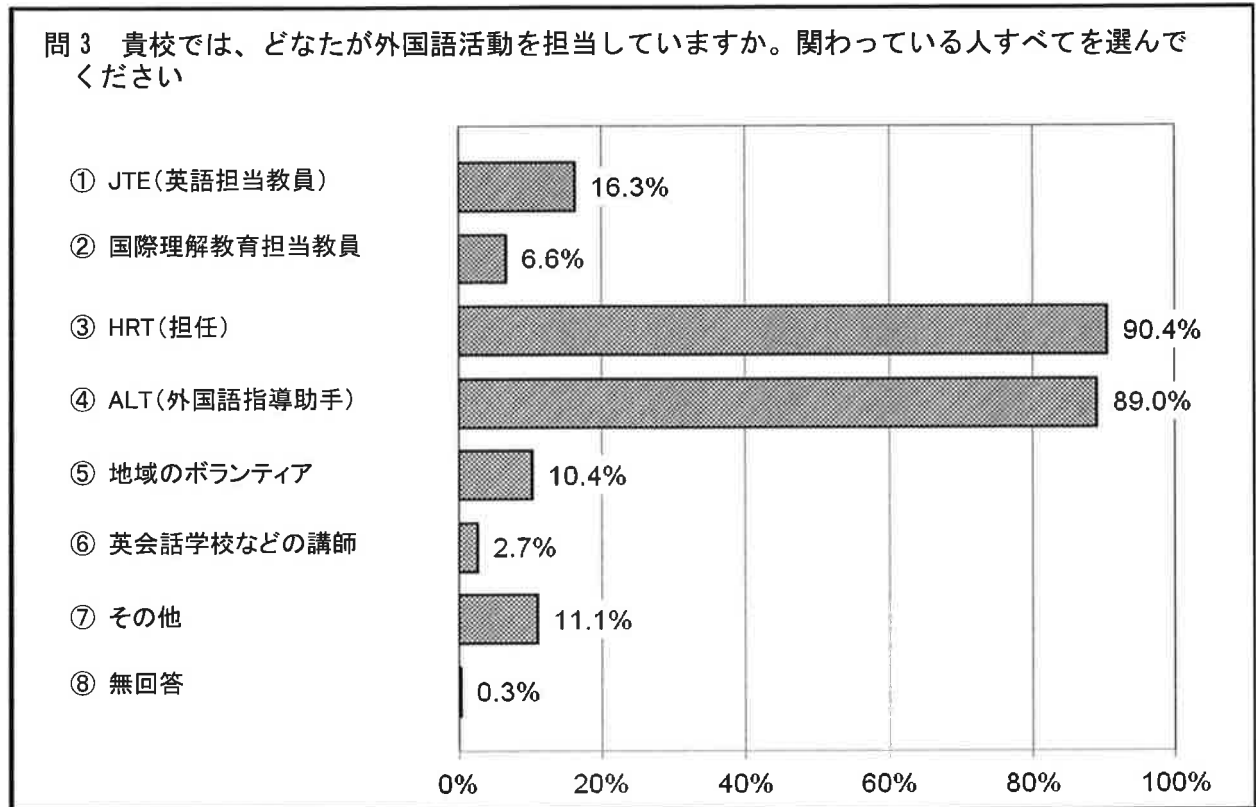
[1・2年生]



**問3 貴校では、どなたが外国語活動を担当していますか。関わっている人すべてを選んでください。**

HRT(担任)90.4%、ALT(外国語指導助手)89.0%となり、HRTとALTの両方にチェックした学校が多かった。大半の学校で両者が協働していることがわかる。以下、JTE(英語担当教員)(16.3%)、地域のボランティア(10.4%)と続く。

その他の記述回答も11.1%と多く、さまざまな人たちが外国語活動に関わっているケースが多いようだ。



**問 4-1 外国語活動で使用している教材について、あてはまるものすべてを選び、使用頻度の高い順から 1, 2, 3…というように[ ]に番号を書いてください。使用していないものには×を書いてください。**

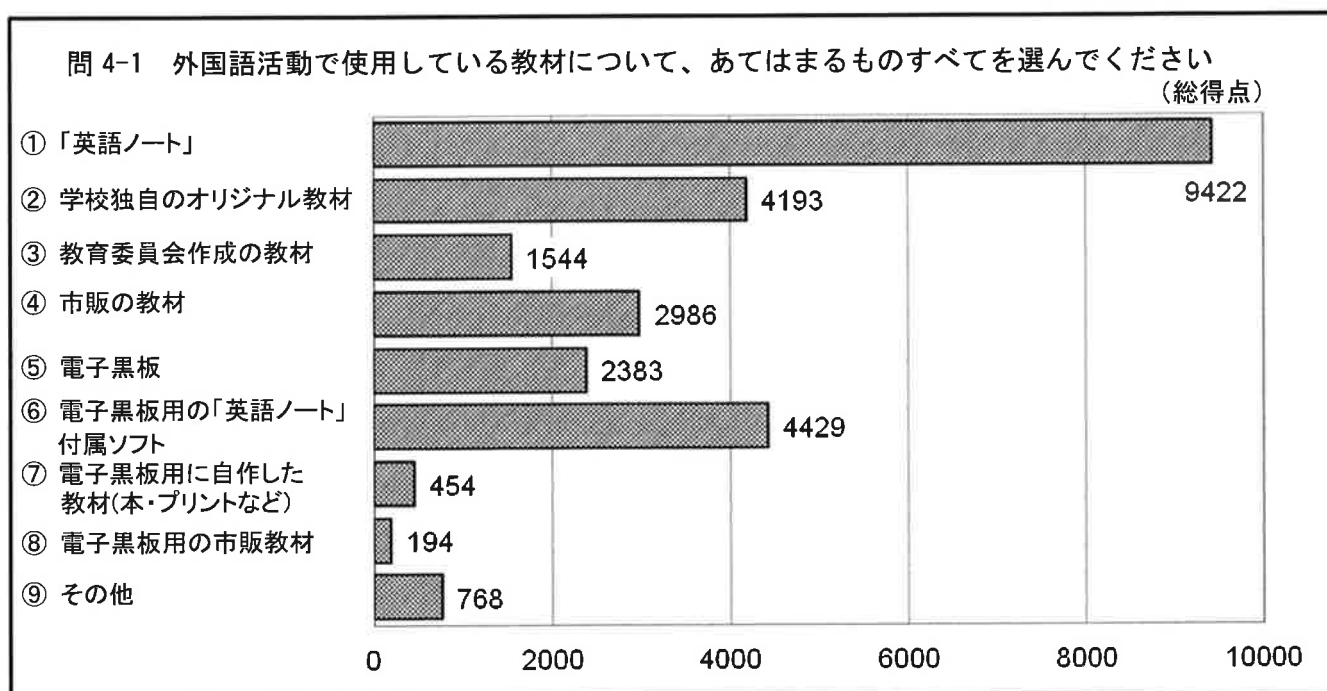
この質問では、使用頻度のもっとも高いものを9得点、以下8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1得点として計算したものを合算して総得点とした。

得点でみると、「英語ノート」が9422得点で、2位「電子黒板用の『英語ノート』付属ソフト」の4429得点を大きく上回り、使用頻度が高いことを示している。以下「学校独自のオリジナル教材」(4193得点)、「市販の教材」(2986得点)、「電子黒板」(2383得点)、「教育委員会作成の教材」(1544得点)と続く。

使用率でみると、「英語ノート」は97.3%で、以下「電子黒板用の『英語ノート』付属ソフト」(50.5%)、「学校独自のオリジナル教材」(45.8%)、「市販の教材」(35.3%)、「電子黒板」(30.8%)、「教育委員会作成の教材」(17.6%)と続く。得点に換算したものと同じような動きであった。「英語ノート」はほとんどの学校で使用され、それ以外にも電子黒板、オリジナル教材、市販の教材などを使用していることがうかがえる。

選 択 肢	総得点	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>	<6>	<7>	<8>	<9>
①「英語ノート」	9422	794	203	80	12	4	0	0	0	0
② 学校独自のオリジナル教材	4193	117	219	142	51	16	2	0	0	0
③ 教育委員会作成の教材	1544	79	52	34	23	5	3	1	0	1
④ 市販の教材	2986	21	142	167	62	17	8	1	0	0
⑤ 電子黒板	2383	30	96	130	53	22	1	1	0	0
⑥ 電子黒板用の「英語ノート」 付属ソフト	4429	76	286	151	51	18	1	0	0	0
⑦ 電子黒板用に自作した教材 (本・プリント、等)	454	1	12	17	21	12	11	0	0	0
⑧ 電子黒板用の市販教材	194	0	5	13	3	5	2	4	0	0
⑨ その他 《 ⇒記述回答は p56 》	768	22	32	38	3	4	2	0	1	0

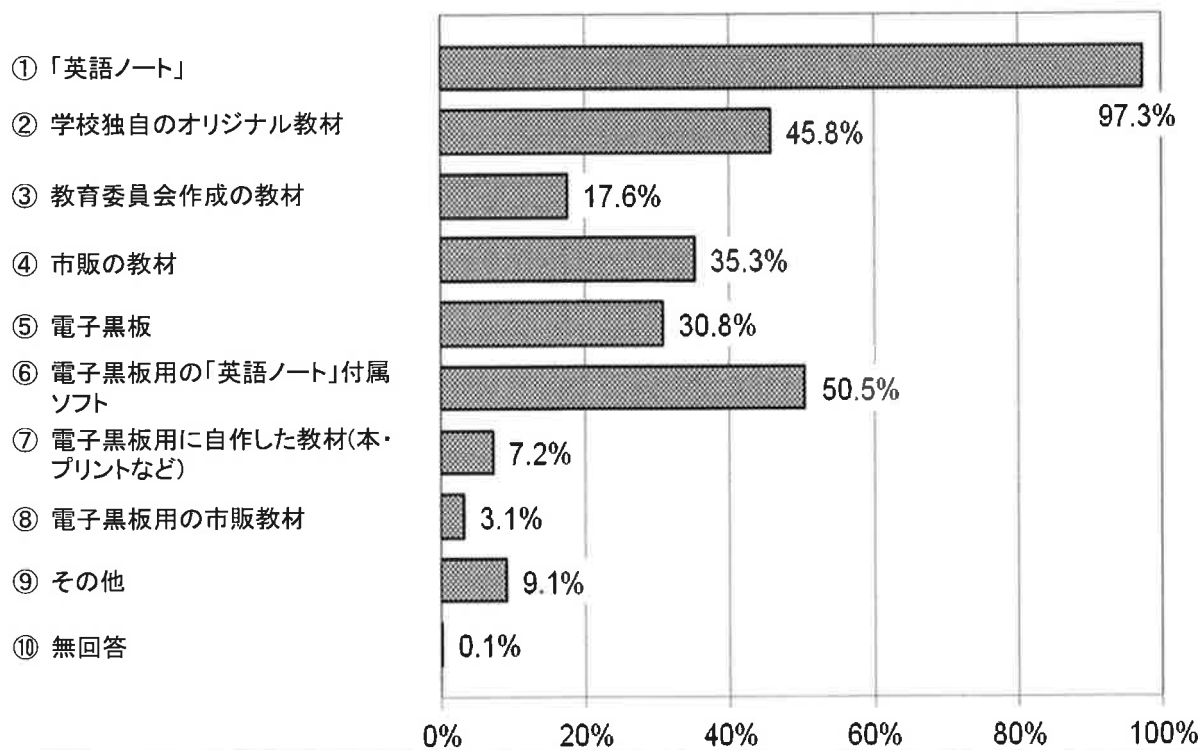
※ 優先度順に得点を付け集計 (<1>=9得点、<2>=8得点 ~ <9>=1得点)





選 択 肢	回答数	N=1463
① 「英語ノート」	1424	97.3%
② 学校独自のオリジナル教材	670	45.8%
③ 教育委員会作成の教材	258	17.6%
④ 市販の教材	517	35.3%
⑤ 電子黒板	450	30.8%
⑥ 電子黒板用の『英語ノート』付属ソフト	739	50.5%
⑦ 電子黒板用に自作した教材(本・プリントなど)	105	7.2%
⑧ 電子黒板用の市販教材	46	3.1%
⑨ その他 《 ⇒記述回答は p56 》	133	9.1%
⑩ 無回答	2	0.1%

問 4-1 外国語活動で使用している教材について、あてはまるものすべてを選んでください



**問 4-2 5・6年生の外国語活動の中で「文字」(アルファベット)を扱っていますか。**

**扱っている場合、その方法についてあてはまるものすべてを選んでください。**

5・6年生の外国語活動の中で「文字」を扱っていない学校はわずかに5.7%で、ほとんどの学校で何らかの形で「文字」を扱っている。

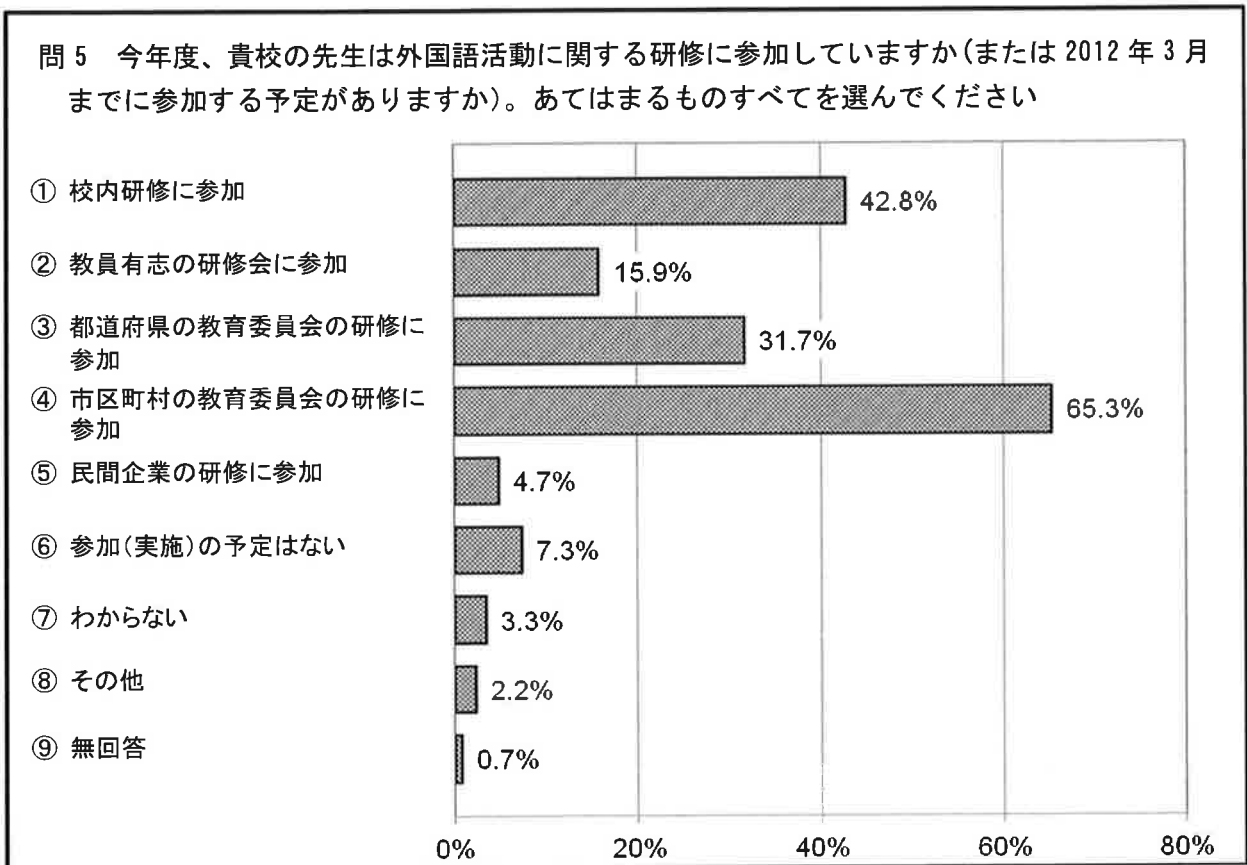
扱っている内容は、「文字(A～Z)を読ませる(黙読または音読させる)」(70.3%)がもっとも多く、「文字(A～Z)を見せる(読ませない)」(46.4%)、「単語を読ませる(黙読または音読させる)」(46.2%)、「単語を見せる(読ませない)」(45.9%)、「文章を見せる(読ませない)」(23.4%)、「文章を読ませる(黙読または音読させる)」(22.8%)の順に多かった。「文字」についてはアルファベットのみならず、多くの学校で、「単語」「文章」も扱っているようである。

選 択 肢	回答数	N=1463
①【扱っている】文字(A～Z)を見せる(読ませない)	679	46.4%
②【扱っている】文字(A～Z)を読ませる(黙読または音読させる)	1029	70.3%
③【扱っている】単語を見せる(読ませない)	672	45.9%
④【扱っている】単語を読ませる(黙読または音読させる)	676	46.2%
⑤【扱っている】文章を見せる(読ませない)	342	23.4%
⑥【扱っている】文章を読ませる(黙読または音読させる)	334	22.8%
⑦【扱っている】その他 《⇒記述回答はp58》	37	2.5%
⑧ 扱っていない	83	5.7%
⑨ わからない	5	0.3%
⑩ 無回答	22	1.5%

**問5 今年度、貴校の先生は外国語活動に関する研修に参加していますか(または2012年3月までに参加する予定がありますか)。あてはまるものすべてを選んでください。**

「市区町村の教育委員会の研修に参加」(65.3%)、「校内研修に参加」(42.8%)をはじめ、「都道府県の教育委員会の研修に参加」(31.7%)、「教員有志の研修会に参加」(15.9%)、「民間企業の研修に参加」(4.7%)となっており、「参加(実施)の予定はない」(7.3%)と「わからない」(3.3%)を除くと約9割の学校の教員がなんらかの研修に参加している。

研修への参加状況を前年度と比較すると、「校内研修に参加」が67.8%から25ポイント、「都道府県の教育委員会の研修に参加」が47.8%から約16ポイントの大幅なダウンとなるなど、全体的に参加の機会が減っている傾向にある。これは外国語活動がこれまでの先行実施の期間から必修化となり、準備の段階から本番に入ったことを反映しているものと思われる。

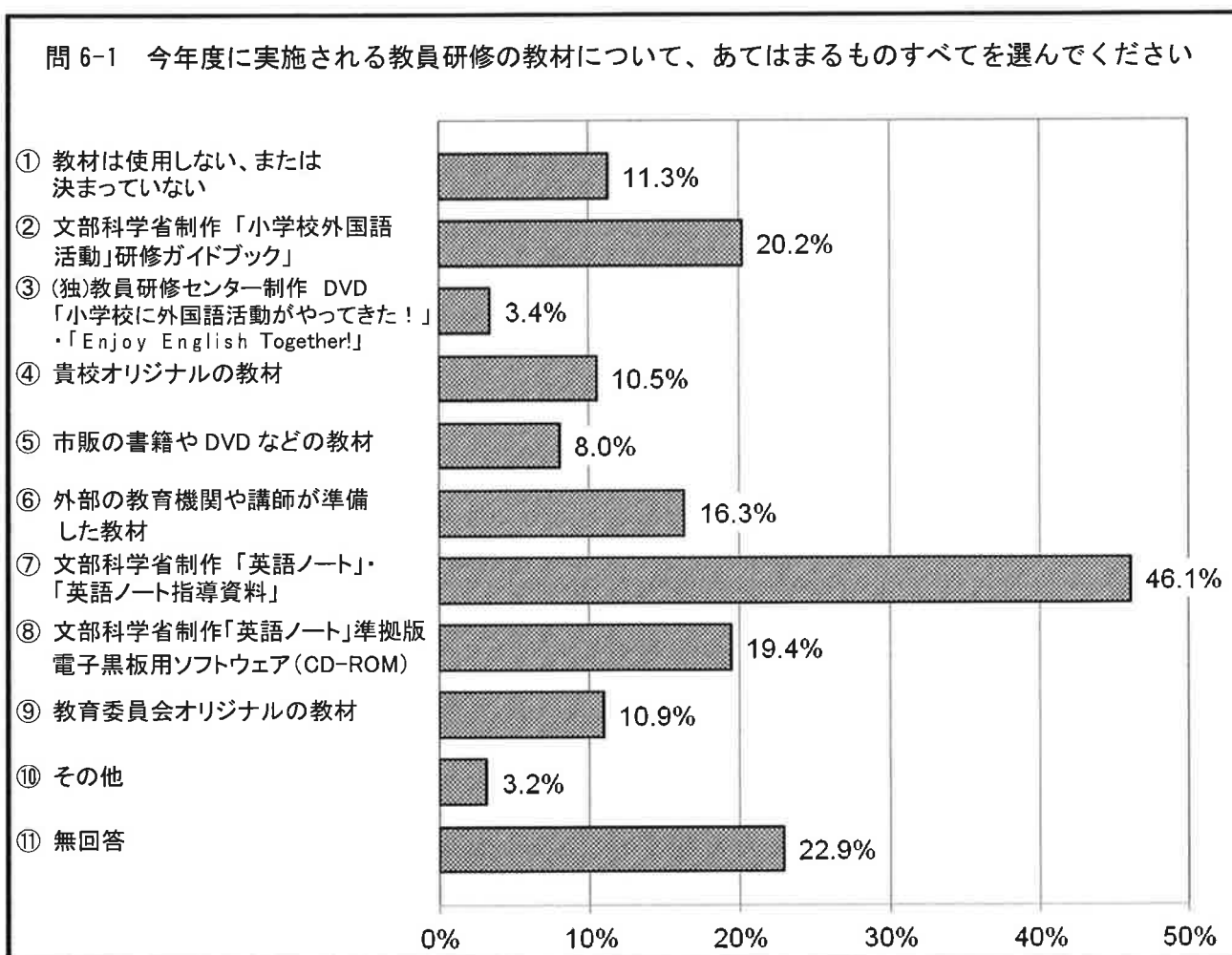


**問 6 貴校において、今年度に教員研修の実績または予定がある場合についてうかがいます。**

**問 6-1 今年度実施される教員研修の教材について、あてはまるものすべてを選んでください。**

教員研修で使用の教材は、「文部科学省制作『英語ノート』・『英語ノート指導資料』」が46.1%でもっとも多く、次いで「文部科学省制作『小学校外国語活動研修ガイドブック』」(20.2%)、「文部科学省制作『英語ノート』準拠版電子黒板用ソフトウェア(CD-ROM)」(19.4%)と、文部科学省制作の教材を使用している研修が多い。ただし、問 4-1 では外国語活動で使用している教材として、文部科学省制作の「英語ノート」が97.3%と高い使用率を示したのに対して、教員研修の教材としては「文部科学省制作『英語ノート』・『英語ノート指導資料』」の使用率は46.1%にとどまっている。

文部科学省制作の教材以外では、「外部の教育機関や講師が準備した教材」(16.3%)、「教育委員会オリジナルの教材」(10.9%)、「貴校オリジナルの教材」(10.5%)、「市販の書籍やDVDなどの教材」(8.0%)、などが続く。



**問 6-2 今年度の教員研修の指導者はどなたですか。関わっている方すべてを選んでください。**

教員研修の指導者は、「市区町村教育委員会の指導主事」が最も多く 28.1%となっている。次いで「ALT(外国語指導助手)」(20.5%)「指導者養成研修を受けた中核教員」(20.4%)、「研究指定校等で外国語(英語)活動や英語教育の指導経験のある教員」(13.3%)、「都道府県教育委員会の指導主事」(11.2%)と続く。教員研修の指導者に関しては、突出した項目がなく比較的平均化している。

その他の回答では、「本校の教員」が最も多く、以下「英語主任」「本校の職員」「学校長・教頭」「国際理解教育担当教員」など、自校の教員が研修指導者として関わっているケースが多かった。

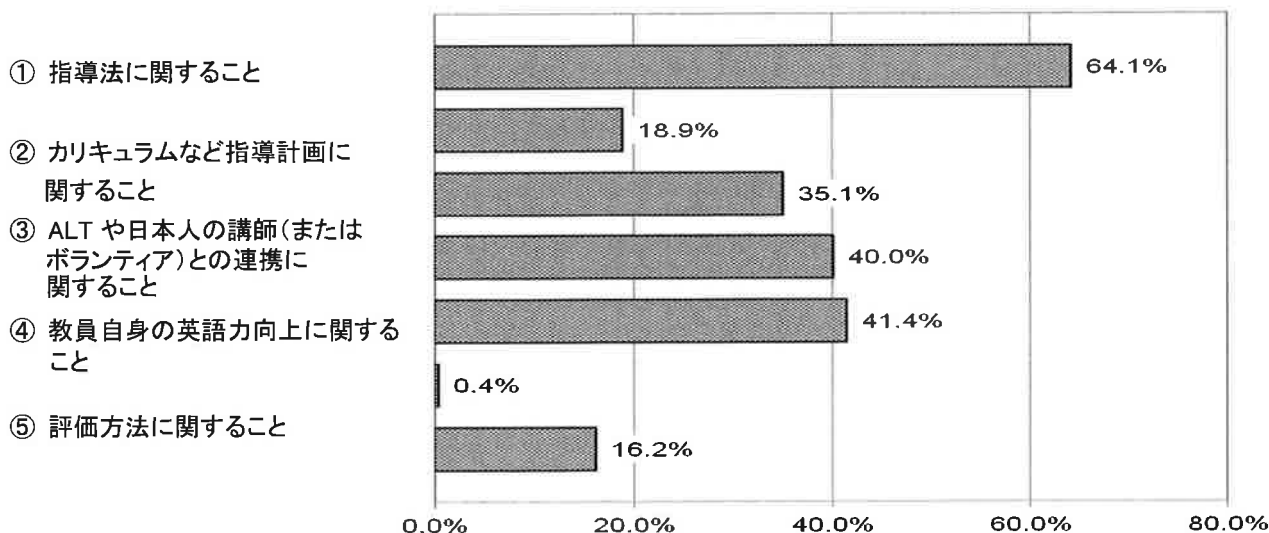
選 択 肢	回答数	N=1297
① 都道府県教育委員会の指導主事	145	11.2%
② 市区町村教育委員会の指導主事	365	28.1%
③ 研究指定校等で外国語(英語)活動や英語教育の指導経験のある教員	172	13.3%
④ 指導者養成研修を受けた中核教員	264	20.4%
⑤ 中学校英語教員	31	2.4%
⑥ 外部委託機関(講師)	113	8.7%
⑦ 大学教員等の有識者	75	5.8%
⑧ ALT(外国語指導助手)	266	20.5%
⑨ その他 《⇒記述回答はp60》	118	9.1%
⑩ 無回答	330	25.4%

**問 6-3 貴校において、特に必要と思う研修内容はどれですか。あてはまるものすべてを選んでください。**

必要と思われる研修内容は、「指導法に関すること」が 64.1%と最も多く、次いで「評価方法に関すること」(41.4%)、「教員自身の英語力向上に関すること」(40.0%)、「ALTや日本人の講師(またはボランティア)との連携に関すること」(35.1%)、「カリキュラムなど指導計画に関すること」(18.9%)と続く。

また前年度との比較では、「評価方法に関すること」だけが 37.9%から今年度の 41.4%へと上がったが、他の項目はすべて下がっている。5・6年生で外国語活動が必修化されたことにもなって「評価」についての研修が求められているのであろう。

問 6-3 貴校において、特に必要と思う研修内容はどれですか。あてはまるものすべてを選んでください

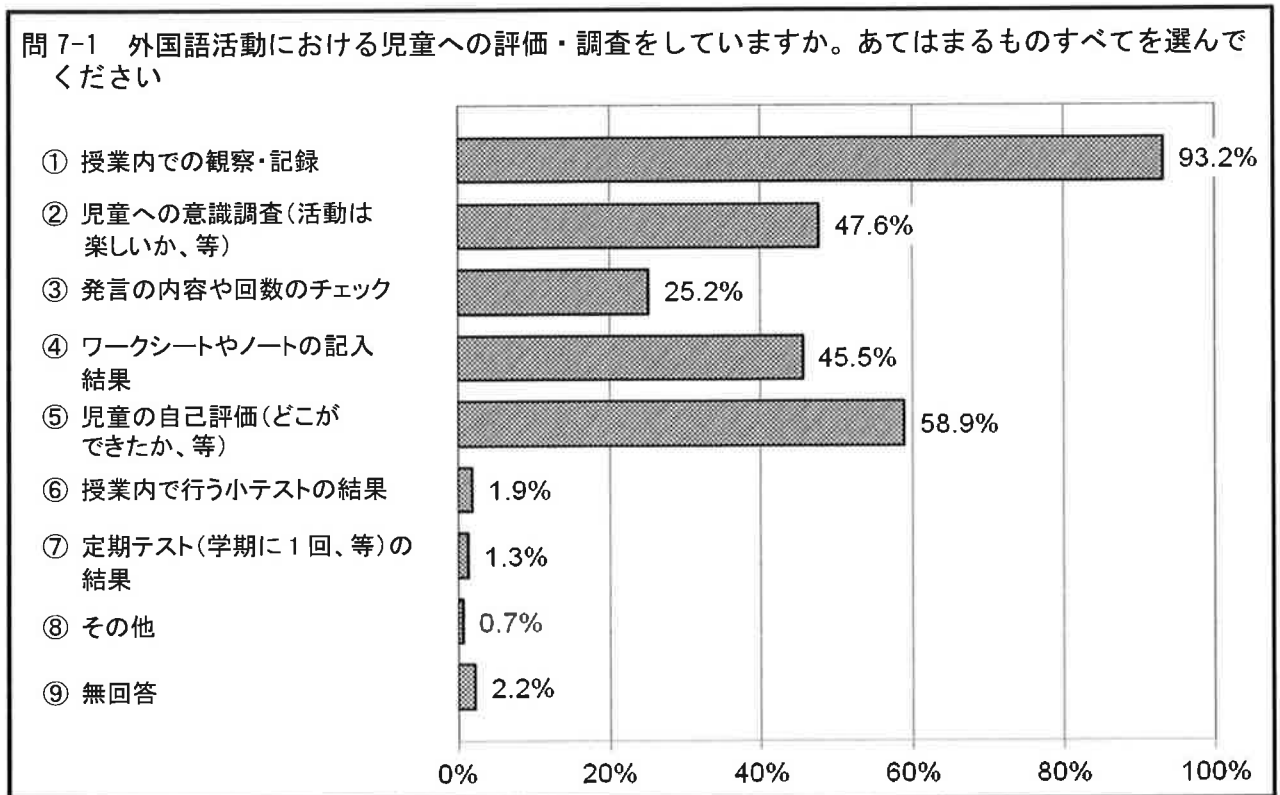


**問 7-1 外国語活動における児童への評価・調査をしていますか。あてはまるものすべてを選んでください。**

児童への評価・調査は、93.2%の学校が「授業内での観察・記録」を評価の対象として挙げている。続いて「児童の自己評価（どこができたか、等）」（58.9%）、「児童への意識調査（活動は楽しいか、等）」（47.6%）、「ワークシートやノートの記入結果」（45.5%）、「発言の内容や回数のチェック」（25.2%）と続く。テストによる評価は「授業内で行う小テストの結果」（1.9%）、「定期テスト（学期に1回、等）の結果」（1.3%）と、ごく少数であった。

これらの結果から、多くの学校がまず「授業内での観察・記録」を評価の基本とし、それ以外に1～2つの項目で評価・調査していることがうかがえる。

また、前年度との比較では、授業での観察・記録の項目が、94.1%から93.2%とわずかに減少した以外はすべての項目で数値が上がっている。評価・調査が様々な角度から行われる傾向にあることがうかがえる。



**問 7-2 外国語活動における児童の達成度合いを、どのような観点で測りたいと思いますか。**

**あてはまるものすべてを選んでください。**

達成度合いの測定に関しては、ほとんどの学校が「英語活動への興味・関心があるか（コミュニケーションを図ろうとする態度、等）」（95.0%）、「活動に意欲的に取り組んでいるか（積極的に参加している、等）」（93.8%）など、児童の外国語活動に対する意識や姿勢で測りたいと考えているようである。続いて多かったのが「簡単な質問のやり取り（買い物、等）を行うことができるか」（60.9%）で、以下「簡単な定型表現（挨拶、等）を聞いて、内容を理解できるか」（45.7%）、「単語を聞いて、内容を理解できるか」（22.2%）となっている。

文字に関して達成度合を測る項目では「アルファベットを見て、読めたり、音と関連づけたりすることができるか」（11.7%）、「文字（単語）を見て、内容を理解できるか」（3.3%）と、いずれも低い数値であった。

選 択 肢	回答数	N=1463
① 単語を聞いて、内容を理解できるか	325	22.2%
② 簡単な定型表現（挨拶、等）を聞いて、内容を理解できるか	669	45.7%
③ 簡単な質問のやり取り（買い物、等）を行うことができるか	891	60.9%
④ 文字（単語）を見て、内容を理解できるか	48	3.3%
⑤ アルファベットを見て、読めたり、音と関連づけたりすることができるか	171	11.7%
⑥ 活動に意欲的に取り組んでいるか（積極的に参加している、等）	1373	93.8%
⑦ 英語活動への興味・関心があるか（コミュニケーションを図ろうとする態度、等）	1390	95.0%
⑧ その他 《 ⇒記述回答は p62 》	28	1.9%
⑨ 無回答	8	0.5%

**問 8 小学生または児童向けの外部制作のテストで、ご存知のものすべてを選んでください。**

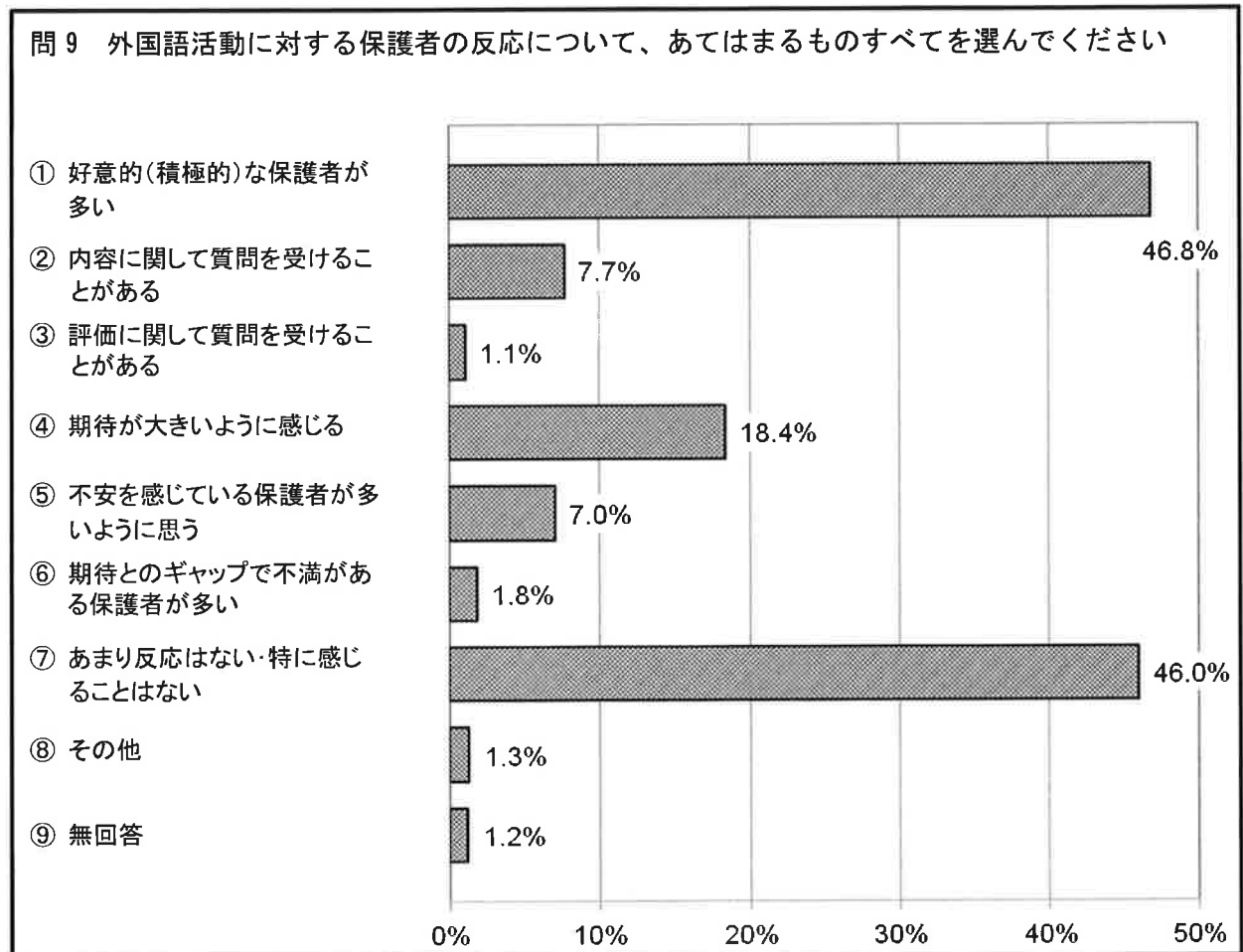
小学生または児童向けの外部テストの認知度は、「児童英検（日本英語検定協会主催）」が78.1%でもっとも高く、次いで「国連英検ジュニア・テスト」（15.9%）、「JAPEC 児童英検」（5.9%）と続いた。これらの順位は前年度と同じであった。

選 択 肢	回答数	N=1463
① 児童英検（日本英語検定協会主催）	1143	78.1%
② 国連英検ジュニア・テスト	232	15.9%
③ JAPEC 児童英検	87	5.9%
④ ケンブリッジ・ヤングラーナーズ	40	2.7%
⑤ GTEC for STUDENTS Junior	13	0.9%
⑥ その他 《 ⇒記述回答は p63 》	6	0.4%
⑦ 無回答	303	20.7%

**問9 外国語活動に対する保護者の反応について、あてはまるものすべてを選んでください。**

外国語活動に対する保護者の反応については、「好意的(積極的)な保護者が多い」とするものが46.8%でもっとも多く、次いで「あまり反応はない・特に感じることはない」が46.0%となっている。保護者の反応は「好意的(積極的)」と「反応がない」にほぼ二分される。

具体的な反応として「内容等に関して質問を受けることがある」(7.7%)、「評価に関して質問を受けることがある」(1.1%)などがあるが、踏み込んだ質問などをしてくる保護者はまだ少ないようである。





**問10 年間35時間の外国語活動を実施するにあたり、貴校では以下の面で環境は整っていると  
思いますか。それぞれについてあてはまる番号（1から5の中で）1つを選んでください。**

- |                           |                               |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 外国語活動担当教員の配置           | 12. 外国語活動を行うための教室             |
| 2. 過去に外国語活動を指導した経験のある教員   | 13. 校内研究会・研修会の実施体制            |
| 3. 年間指導計画を作成できる教員         | 14. 5・6年生と1～4年生の担当教員の情報交換     |
| 4. 校内研修を企画・運営できる教員        | 15. 同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制   |
| 5. ALTの小学校訪問頻度（           | 16. 進学先中学校との情報交換の体制           |
| 6. 外国語活動実施に対する教員の積極性      | 17. 学校外での研修会・勉強会などの情報         |
| 7. 英語の文法・表現・発音等について相談できる人 | 18. 学校外での研修会・勉強会参加の仕組みやサポート体制 |
| 8. 外国語活動の指導法について相談できる人    | 19. 教師が使用する教具を購入する費用          |
| 9. 年間指導計画・指導案             | 20. 教師が研修に参加する費用              |
| 10. 児童が外国語活動で使用する教材       | 21. ALTなどの指導者に関する費用           |
| 11. 教師が外国語活動で使用する教具       |                               |

外国語活動実施に際しての環境の整備状況については、以下のようにまとめられる。

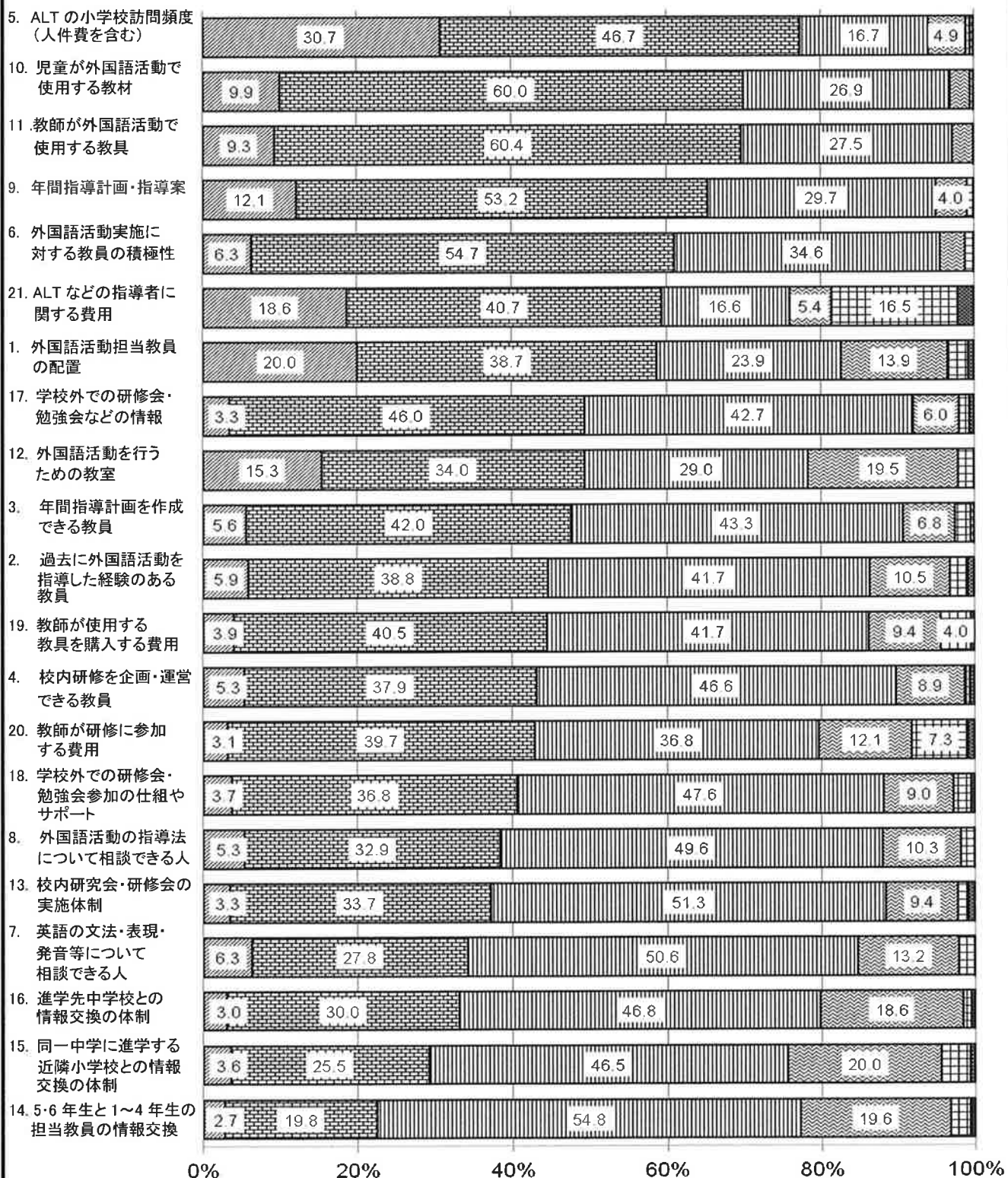
- ①「十分に整っている」「ある程度整っている」が70%以上のもの  
「ALTの小学校訪問頻度（人件費を含む）」（77.4%）
- ②「十分に整っている」「ある程度整っている」が60%以上70%未満のもの  
「児童が外国語活動で使用する教材」（69.9%）  
「教師が外国語活動で使用する教具」（69.7%）  
「年間指導計画・指導案」（65.3%）  
「外国語活動実施に対する教員の積極性」（61.0%）
- ③「十分に整っている」「ある程度整っている」が50%以上60%未満のもの  
「ALTなどの指導者に関する費用」（59.3%）  
「外国語活動担当教員の配置」（58.7%）
- ④「十分に整っている」「ある程度整っている」と「まったく整っていない」「あまり整っていない」が、  
ほぼ拮抗しているもの  
「学校外での研修会・勉強会などの情報」…「整っている」（49.3%）>「整っていない」（48.7%）  
「外国語活動を行うための教室」…「整っている」（49.3%）>「整っていない」（48.5%）  
「年間指導計画を作成できる教員」…「整っている」（47.6%）<「整っていない」（50.1%）
- ⑤「まったく整っていない」「あまり整っていない」が50%以上60%未満のもの  
「外国語活動の指導法について相談できる人」（59.9%）  
「学校外での研修会・勉強会参加の仕組みやサポート体制」（56.6%）  
「校内研修を企画・運営できる教員」（55.5%）  
「過去に外国語活動を指導した経験のある教員」（52.1%）  
「教師が使用する教具を購入する費用」（51.1%）  
「年間指導計画を作成できる教員」（50.1%）
- ⑥「まったく整っていない」「あまり整っていない」が60%以上70%未満のもの  
「同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制」（66.5%）  
「進学先中学校との情報交換の体制」（65.4%）  
「英語の文法・表現・発音等について相談できる人」（63.8%）  
「校内研究会・研修会の実施体制」（60.7%）
- ⑦「まったく整っていない」「あまり整っていない」が70%以上のもの  
「5・6年生と1～4年生の担当教員の情報交換」（74.4%）

以上を概観すると、ALT等、外国語活動を実施する上でのアシスタントや教材・教具は比較的整っているようだ。一方で、情報交換体制（校内の教員間の連絡、小小連携、小中連携）や、小学校教員が指導法や英語のスキルについて相談する体制などに不備があると言えそうだ。

<降順：「十分に整っている+ある程度整っている」の回答の多い順>

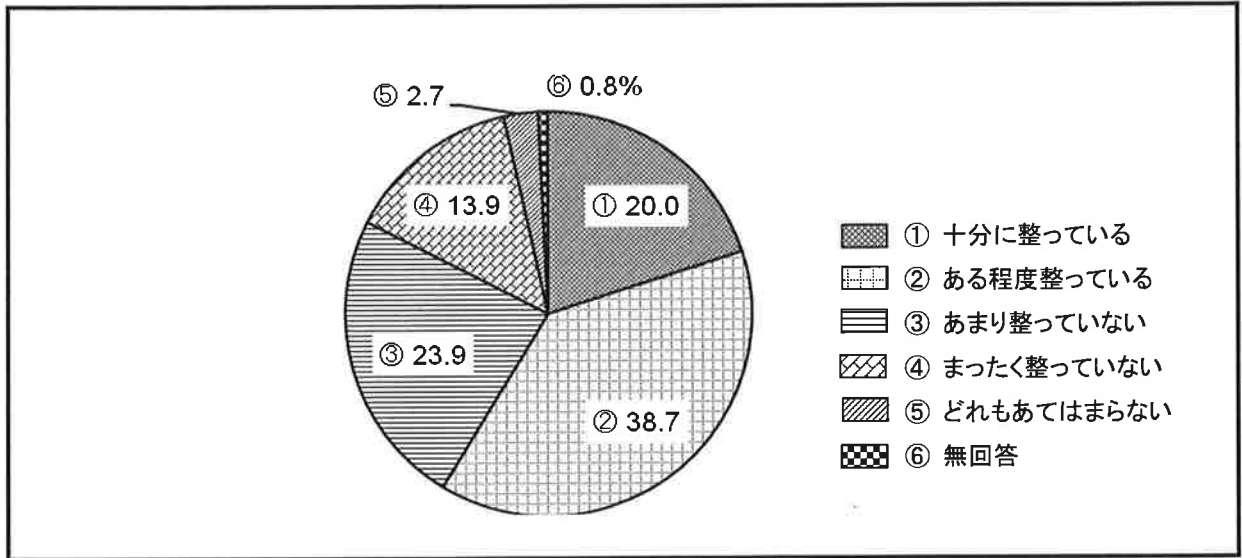
問 10 年間 35 時間の外国語活動を実施するにあたり、貴校では以下の面で環境は整っていると  
 思いますか

十分に整っている ある程度整っている あまり整っていない まったく整っていない どれもあてはまらない 無回答



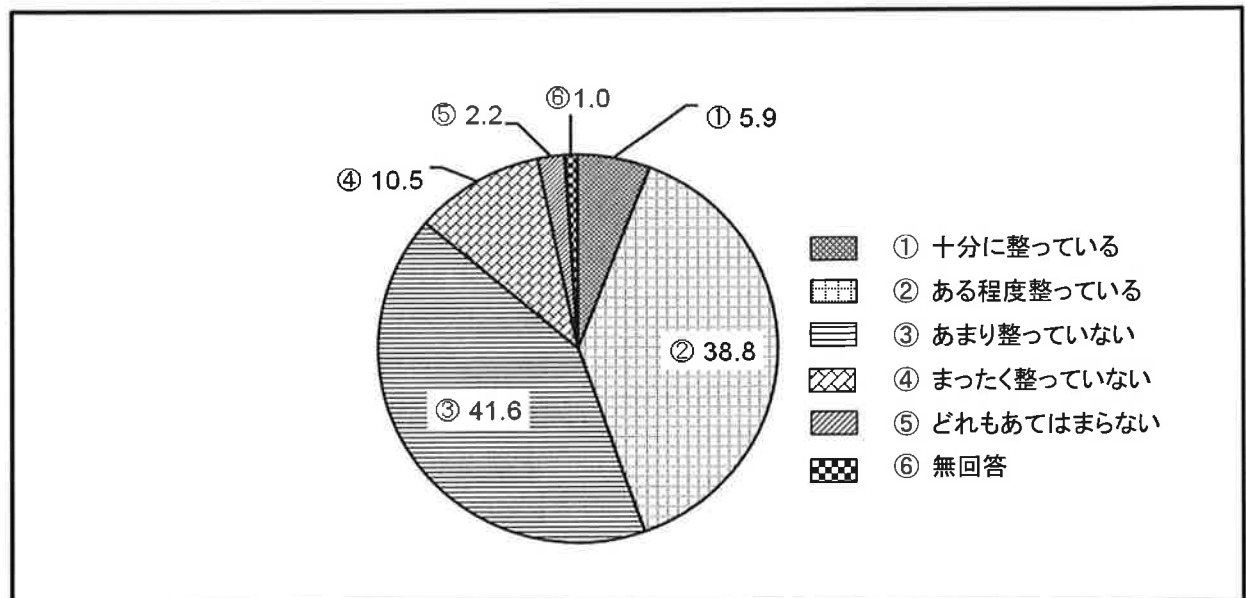
問 10-1 外国語活動担当教員の配置

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	293	20.0%
② ある程度整っている	566	38.7%
③ あまり整っていない	349	23.9%
④ まったく整っていない	204	13.9%
⑤ どれもあてはまらない	40	2.7%
⑥ 無回答	11	0.8%



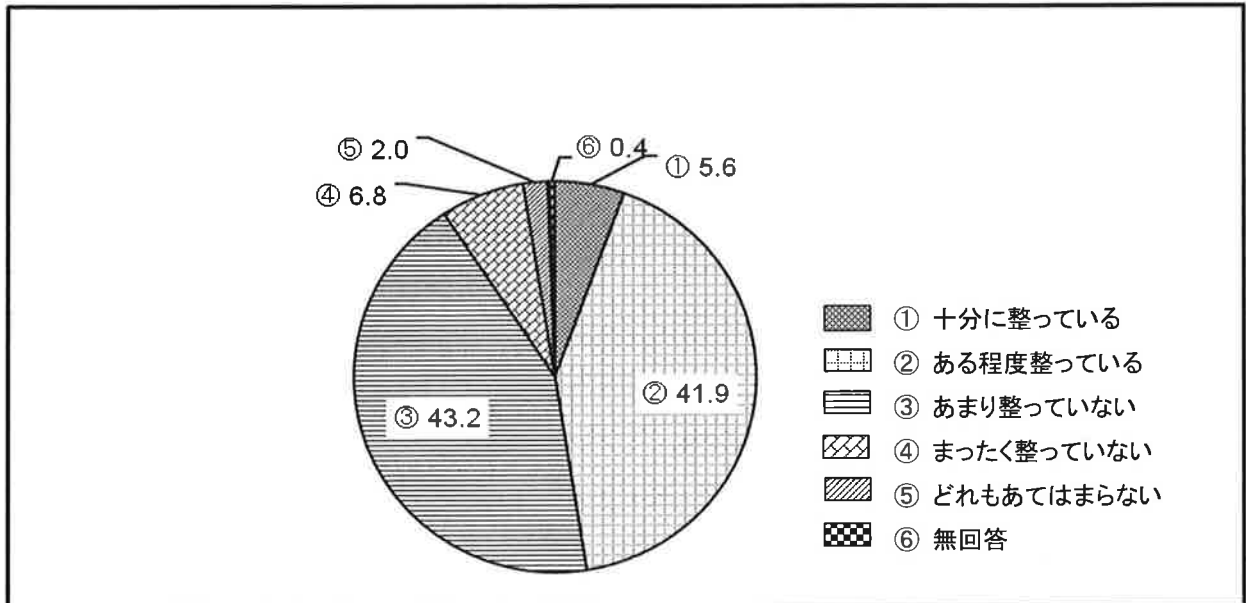
問 10-2 過去に外国語活動を指導した経験のある教員

選 択 肢	回答数	N=1462
① 十分に整っている	86	5.9%
② ある程度整っている	567	38.8%
③ あまり整っていない	609	41.6%
④ まったく整っていない	154	10.5%
⑤ どれもあてはまらない	32	2.2%
⑥ 無回答	14	1.0%



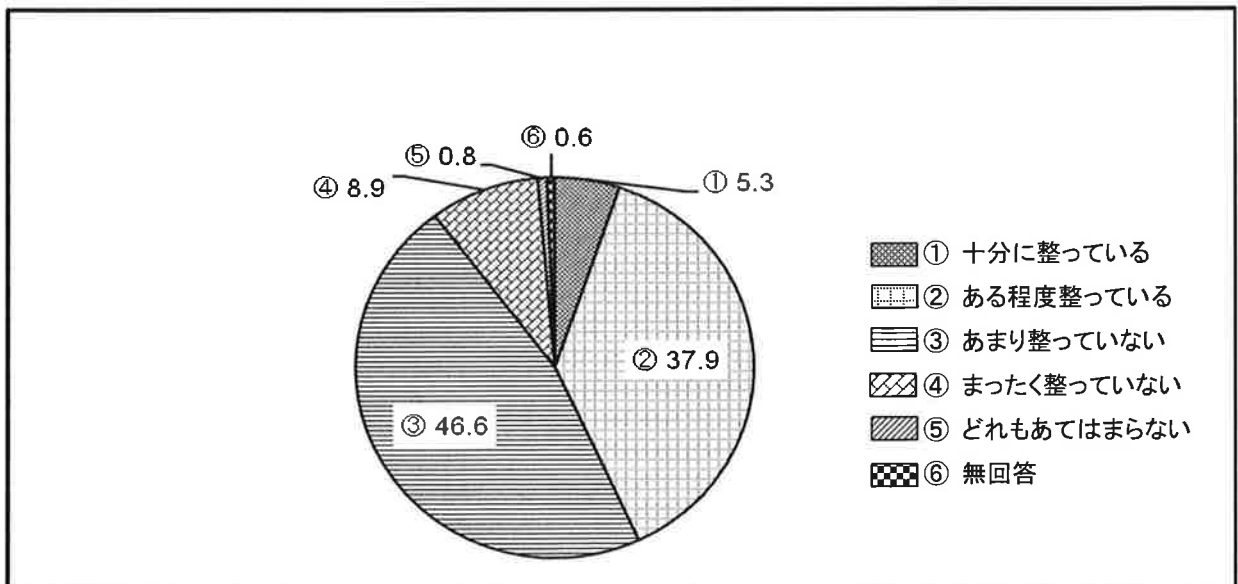
問 10-3 年間指導計画を作成できる教員

選 択 肢	回答数	N=1461
① 十分に整っている	82	5.6%
② ある程度整っている	613	42.0%
③ あまり整っていない	632	43.3%
④ まったく整っていない	99	6.8%
⑤ どれもあてはまらない	29	2.0%
⑥ 無回答	6	0.4%



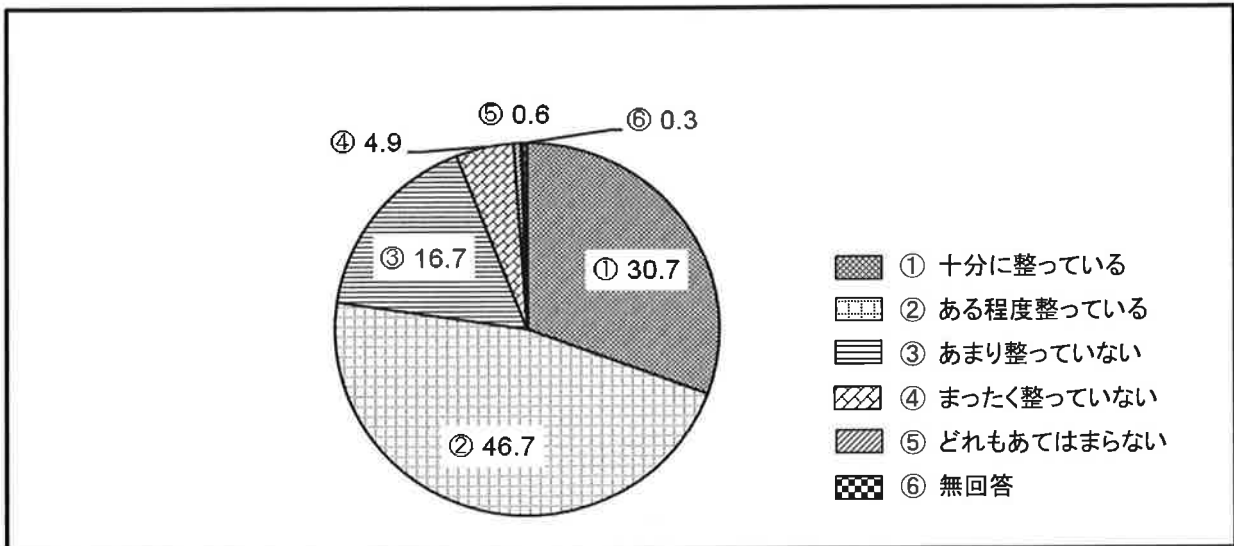
問 10-4 校内研修を企画・運営できる教員

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	77	5.3%
② ある程度整っている	554	37.9%
③ あまり整っていない	682	46.6%
④ まったく整っていない	130	8.9%
⑤ どれもあてはまらない	11	0.8%
⑥ 無回答	9	0.6%



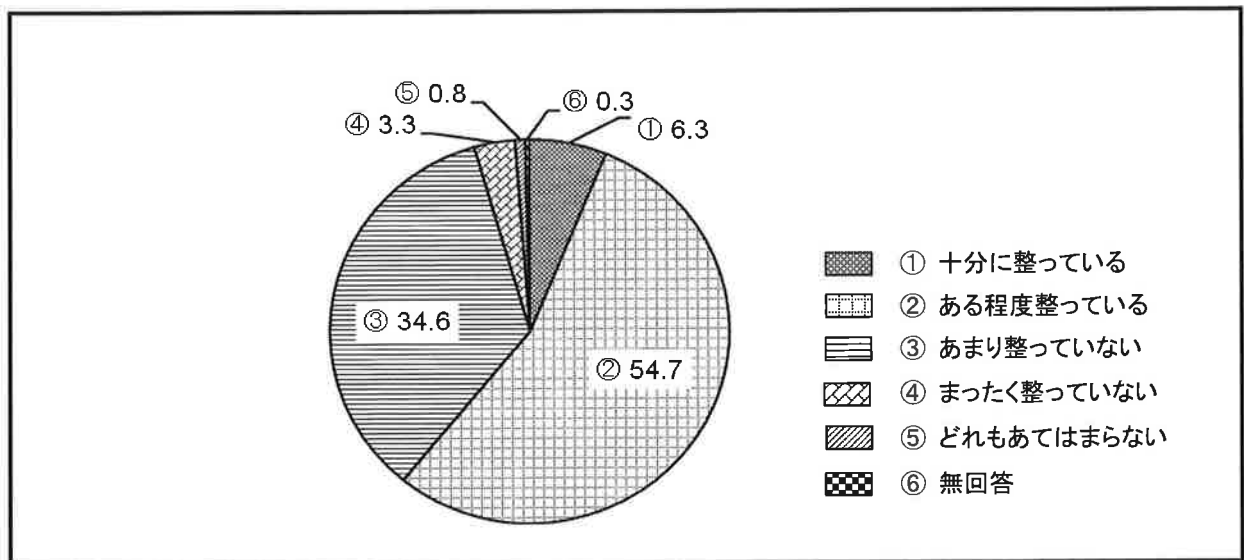
問 10-5 ALT の小学校訪問頻度（人件費を含む）

選 択 肢	回答数	N=1461
① 十分に整っている	449	30.7%
② ある程度整っている	683	46.7%
③ あまり整っていない	244	16.7%
④ まったく整っていない	71	4.9%
⑤ どれもあてはまらない	9	0.6%
⑥ 無回答	5	0.3%



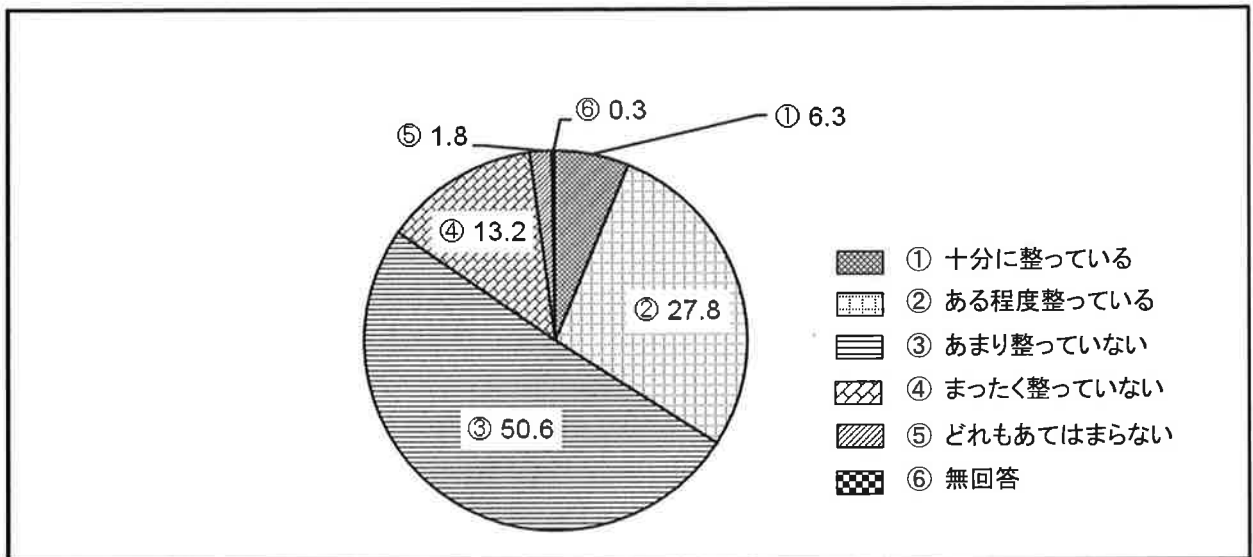
問 10-6 外国語活動実施に対する教員の積極性

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	92	6.3%
② ある程度整っている	800	54.7%
③ あまり整っていない	506	34.6%
④ まったく整っていない	48	3.3%
⑤ どれもあてはまらない	12	0.8%
⑥ 無回答	5	0.3%



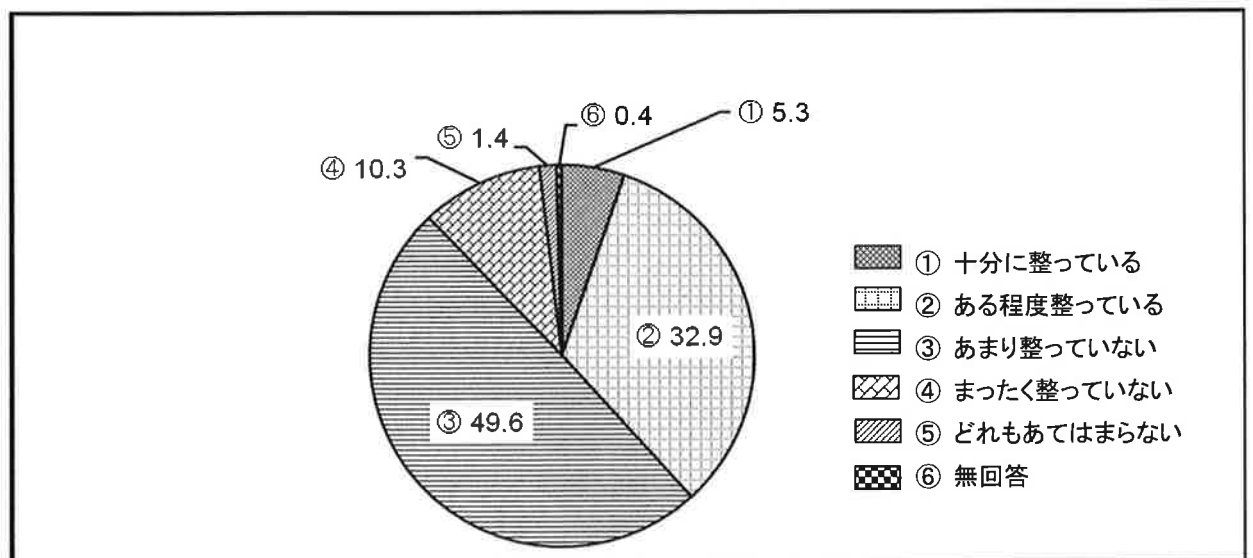
問 10-7 英語の文法・表現・発音等について相談できる人

選 択 肢	回答数	N=1463
①十分に整っている	92	6.3%
②ある程度整っている	407	27.8%
③あまり整っていない	740	50.6%
④まったく整っていない	193	13.2%
⑤どれもあてはまらない	27	1.8%
⑥無効値	0	0.0%
⑦無回答	4	0.3%



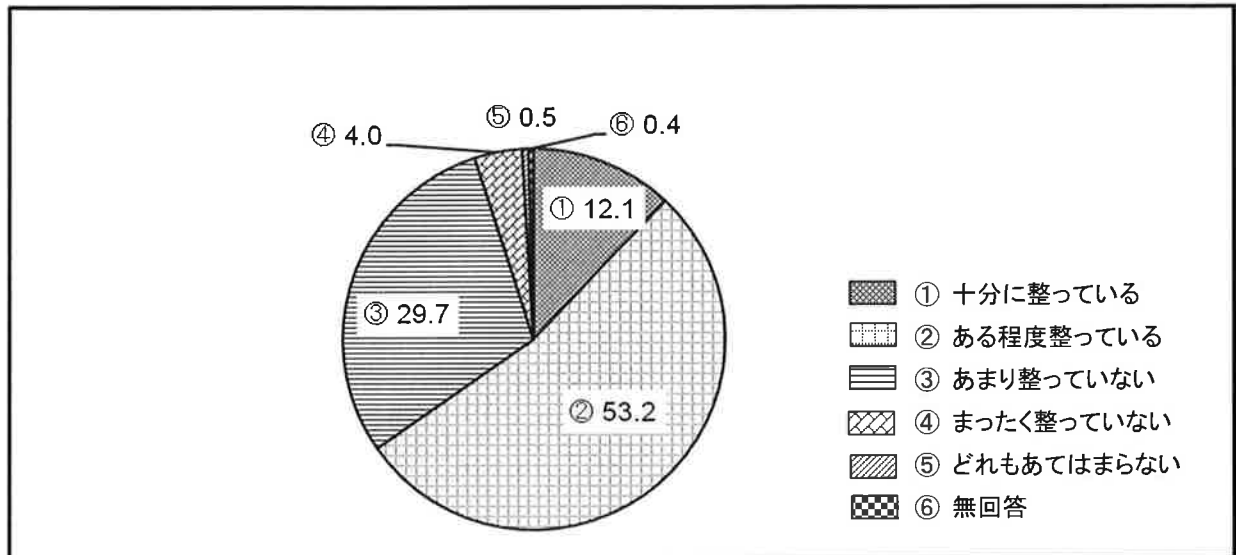
問 10-8 外国語活動の指導法について相談できる人

選 択 肢	回答数	N=1463
①十分に整っている	78	5.3%
②ある程度整っている	482	32.9%
③あまり整っていない	726	49.6%
④まったく整っていない	150	10.3%
⑤どれもあてはまらない	21	1.4%
⑥無回答	6	0.4%



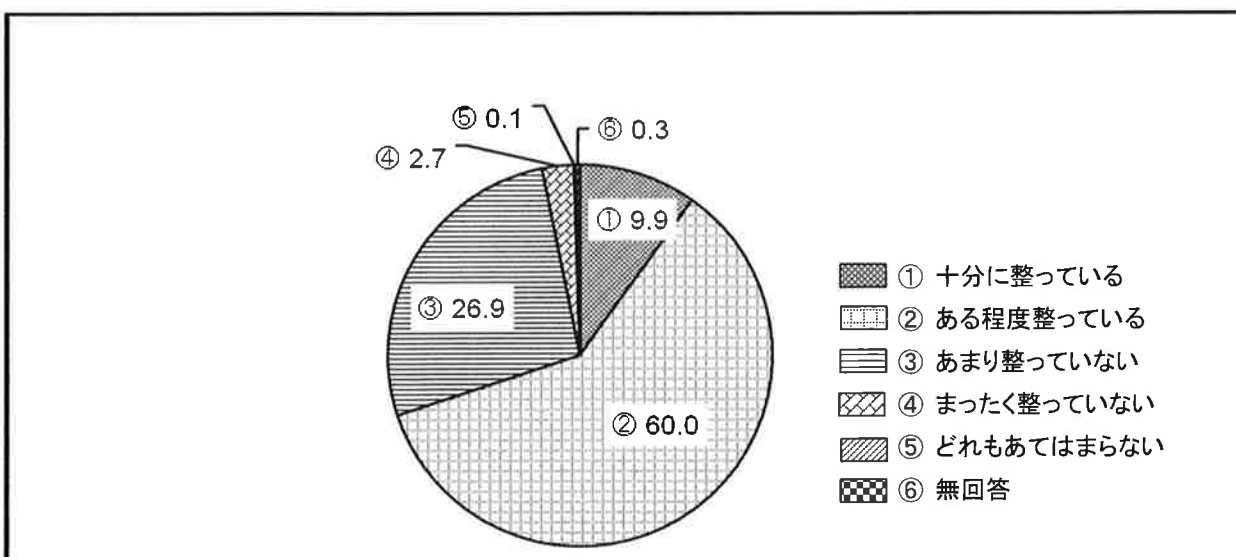
問 10-9 年間指導計画・指導案

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	177	12.1%
② ある程度整っている	779	53.2%
③ あまり整っていない	434	29.7%
④ まったく整っていない	59	4.0%
⑤ どれもあてはまらない	8	0.5%
⑥ 無回答	6	0.4%



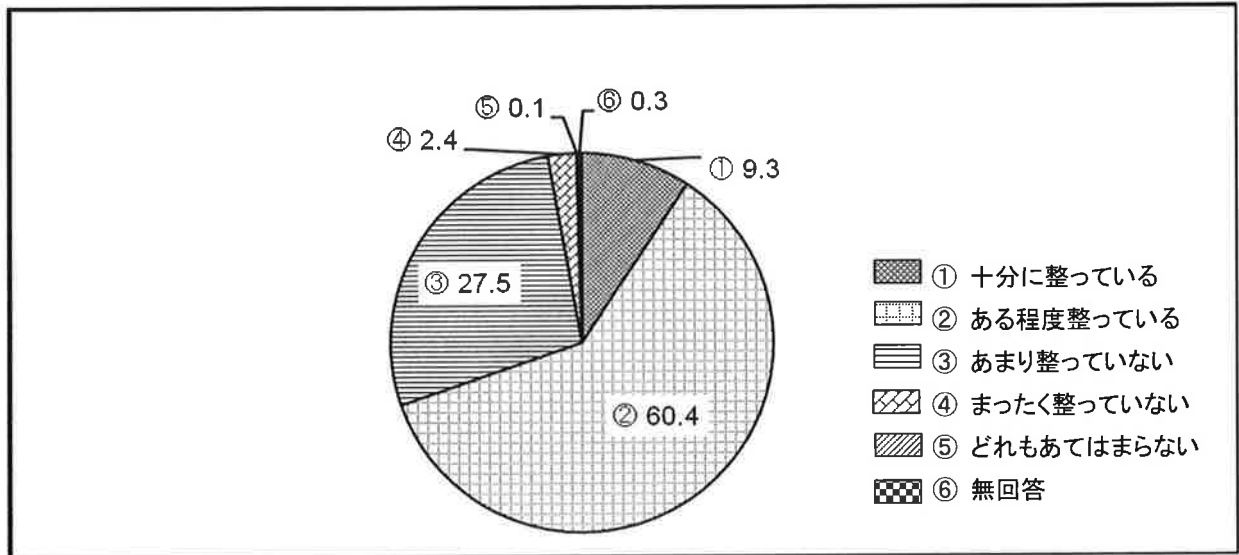
問 10-10 児童が外国語活動で使用する教材

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	145	9.9%
② ある程度整っている	878	60.0%
③ あまり整っていない	394	26.9%
④ まったく整っていない	39	2.7%
⑤ どれもあてはまらない	2	0.1%
⑥ 無回答	5	0.3%



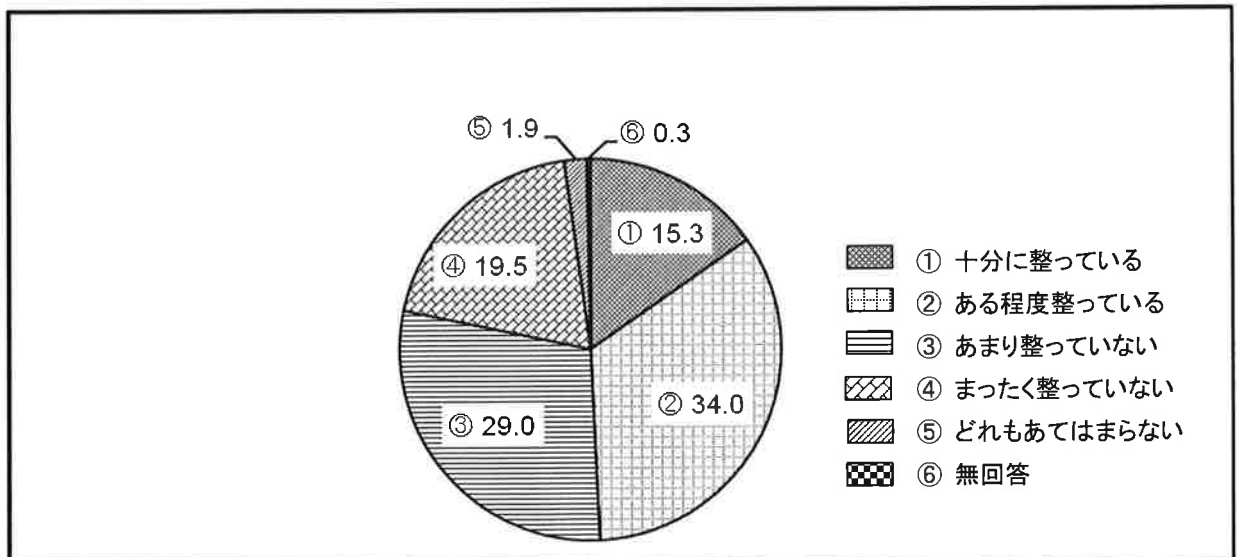
問 10-11 教師が外国語活動で使用する教具

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	136	9.3%
② ある程度整っている	884	60.4%
③ あまり整っていない	402	27.5%
④ まったく整っていない	35	2.4%
⑤ どれもあてはまらない	2	0.1%
⑥ 無回答	4	0.3%



問 10-12 外国語活動を行うための教室

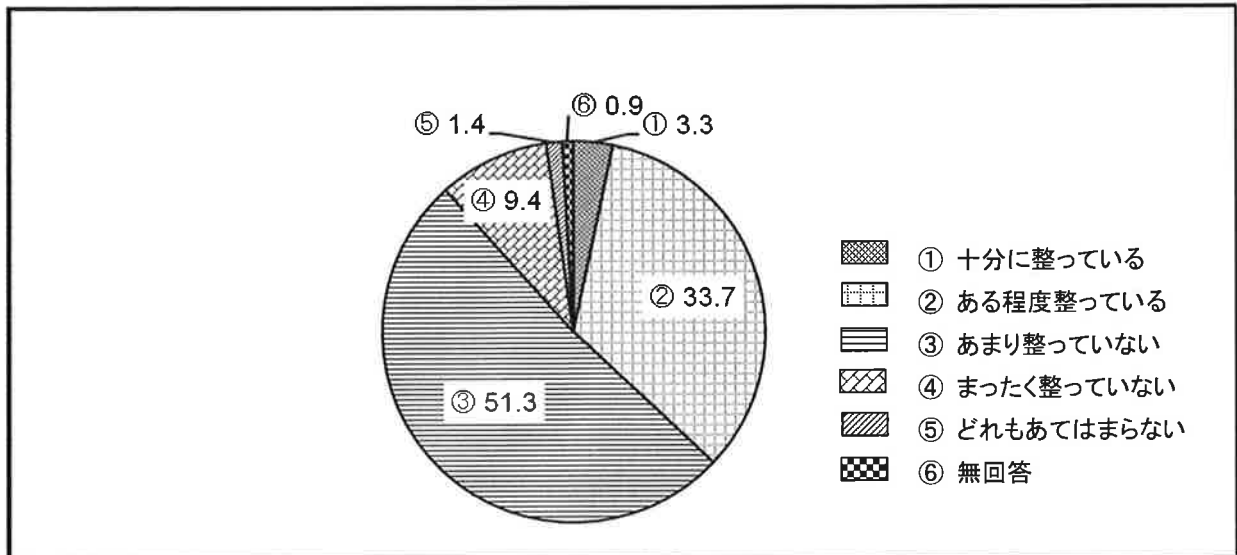
選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	224	15.3%
② ある程度整っている	497	34.0%
③ あまり整っていない	425	29.0%
④ まったく整っていない	285	19.5%
⑤ どれもあてはまらない	28	1.9%
⑥ 無回答	4	0.3%





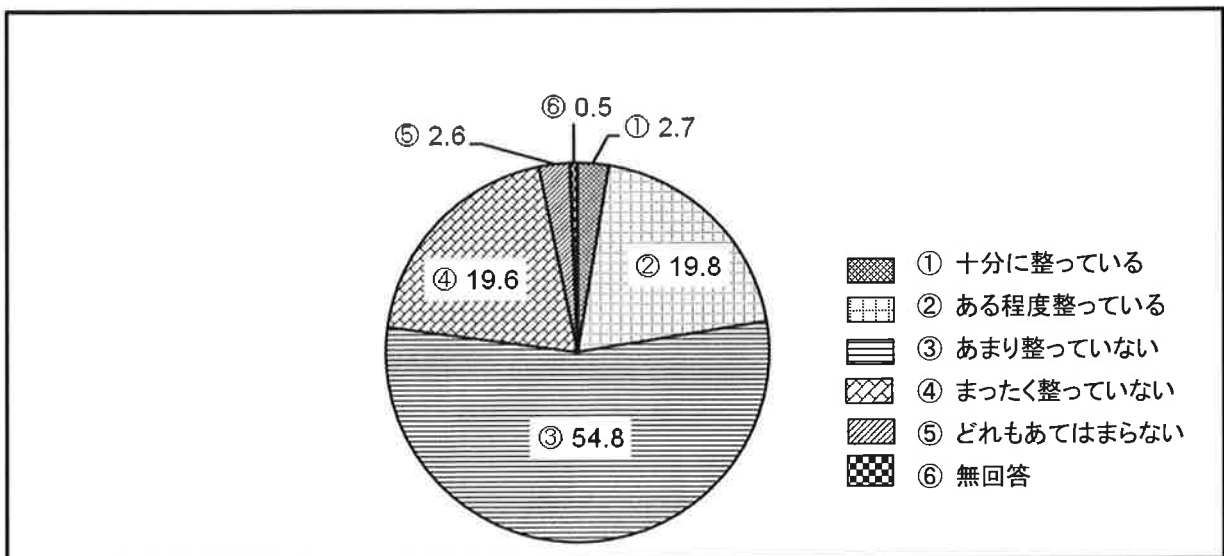
問 10-13 校内研究会・研修会の実施体制

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	49	3.3%
② ある程度整っている	493	33.7%
③ あまり整っていない	751	51.3%
④ まったく整っていない	137	9.4%
⑤ どれもあてはまらない	20	1.4%
⑥ 無回答	13	0.9%



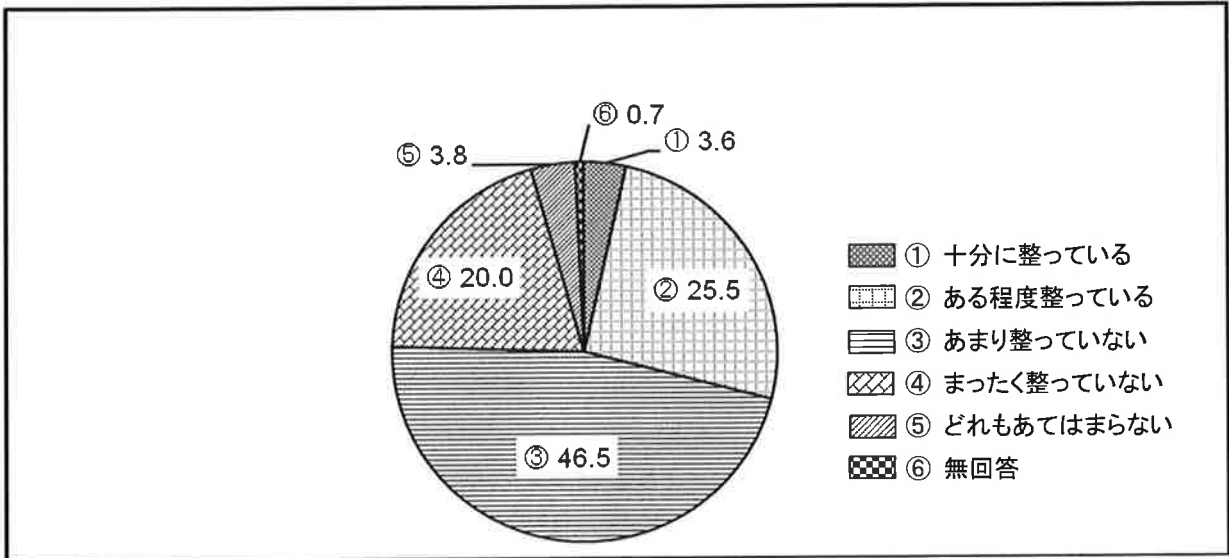
問 10-14 5・6年生と1・4年生の担当教員の情報交換体制

選 択 肢	回答数	N=1462
① 十分に整っている	39	2.7%
② ある程度整っている	289	19.8%
③あまり整っていない	801	54.8%
④まったく整っていない	287	19.6%
⑤どれもあてはまらない	38	2.6%
⑥無回答	8	0.5%



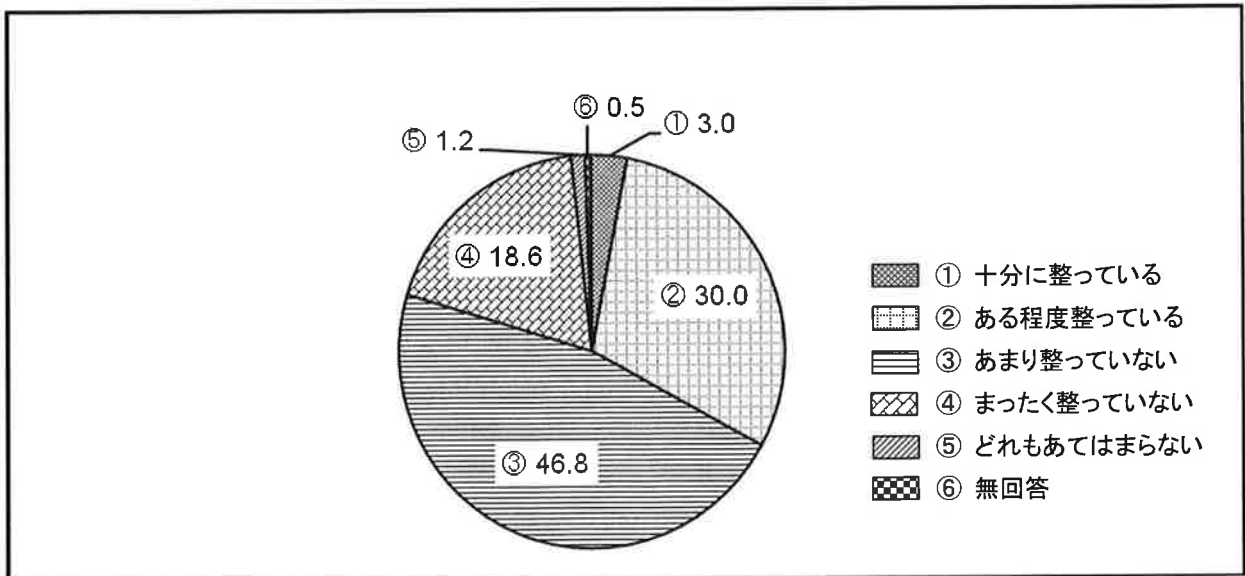
問 10-15 同一中学に進学する近隣小学校との情報交換の体制

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	52	3.6%
② ある程度整っている	373	25.5%
③ あまり整っていない	680	46.5%
④ まったく整っていない	293	20.0%
⑤ どれもあてはまらない	55	3.8%
⑥ 無回答	10	0.7%



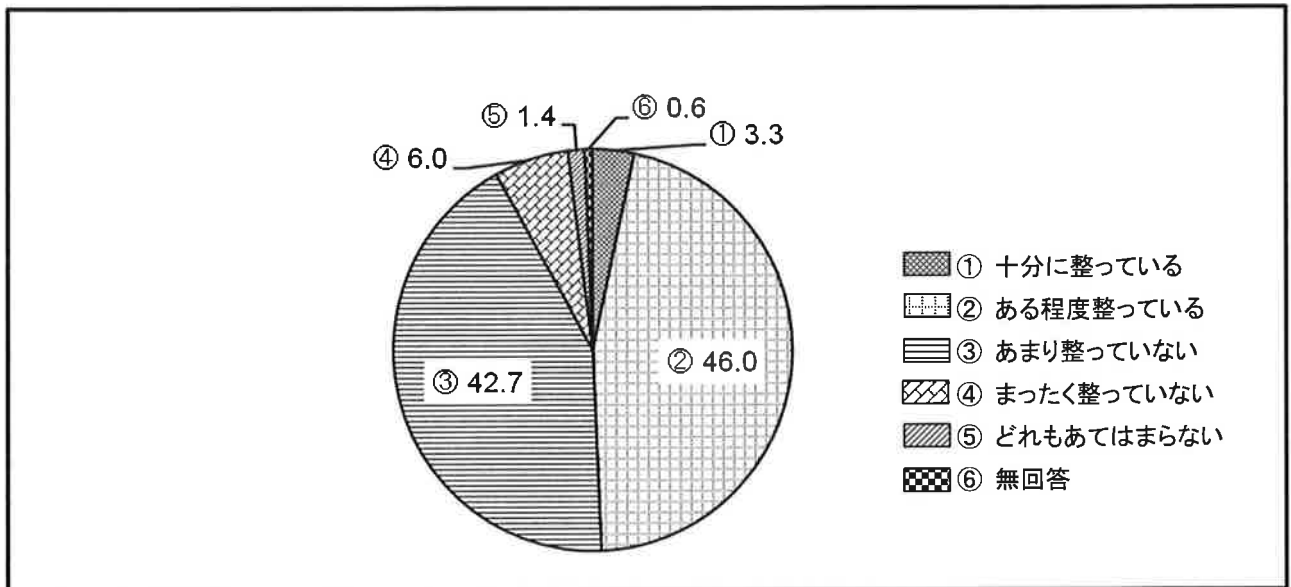
問 10-16 進学先中学校との情報交換の体制

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	44	3.0%
② ある程度整っている	439	30.0%
③ あまり整っていない	684	46.8%
④ まったく整っていない	272	18.6%
⑤ どれもあてはまらない	17	1.2%
⑥ 無回答	7	0.5%



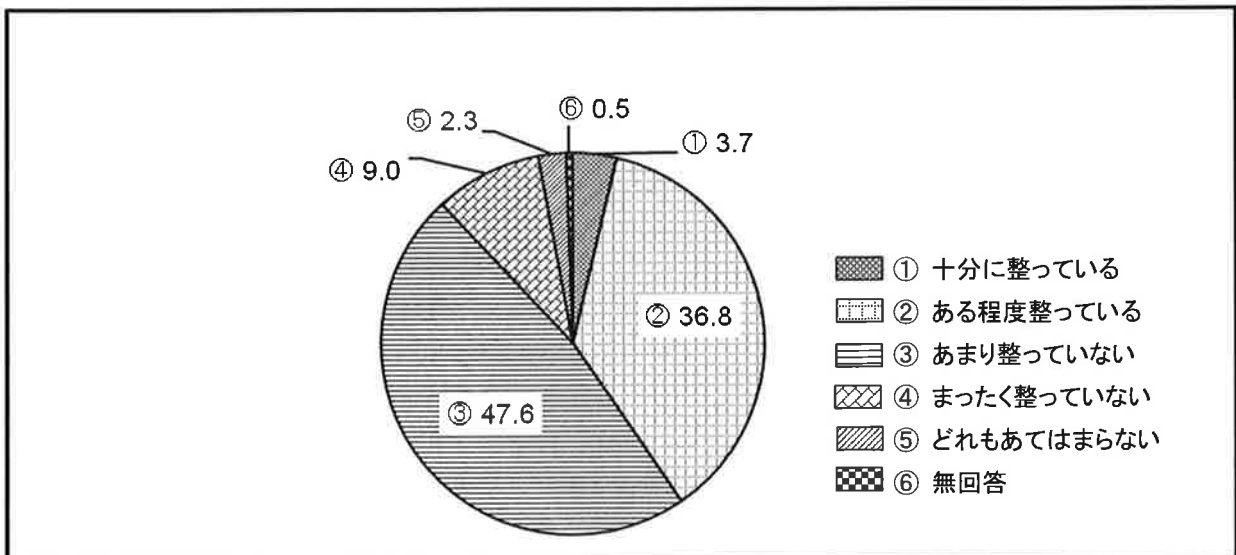
問 10-17 学校外での研修会・勉強会などの情報

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	49	3.3%
② ある程度整っている	673	46.0%
③ あまり整っていない	624	42.7%
④ まったく整っていない	88	6.0%
⑤ どれもあてはまらない	20	1.4%
⑥ 無回答	9	0.6%



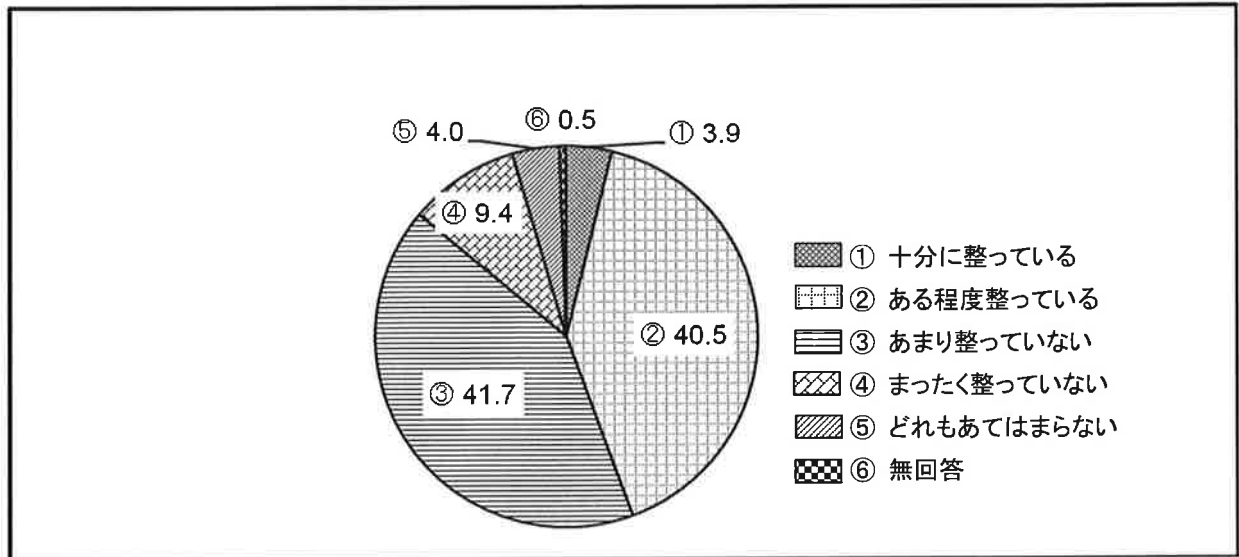
問 10-18 学校外での研修会・勉強会参加の仕組やサポート体制

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	54	3.7%
② ある程度整っている	538	36.8%
③ あまり整っていない	697	47.6%
④ まったく整っていない	132	9.0%
⑤ どれもあてはまらない	34	2.3%
⑥ 無回答	8	0.5%



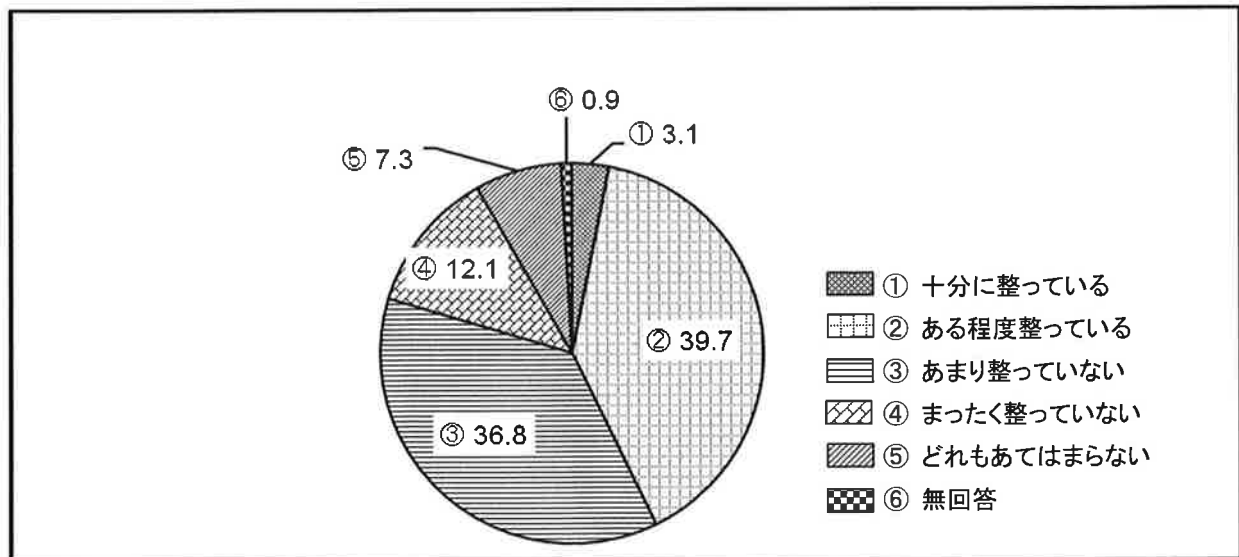
問 10-19 教師が使用する教具を購入する費用

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	57	3.9%
② ある程度整っている	593	40.5%
③ あまり整っていない	610	41.7%
④ まったく整っていない	137	9.4%
⑤ どれもあてはまらない	58	4.0%
⑥ 無回答	8	0.5%



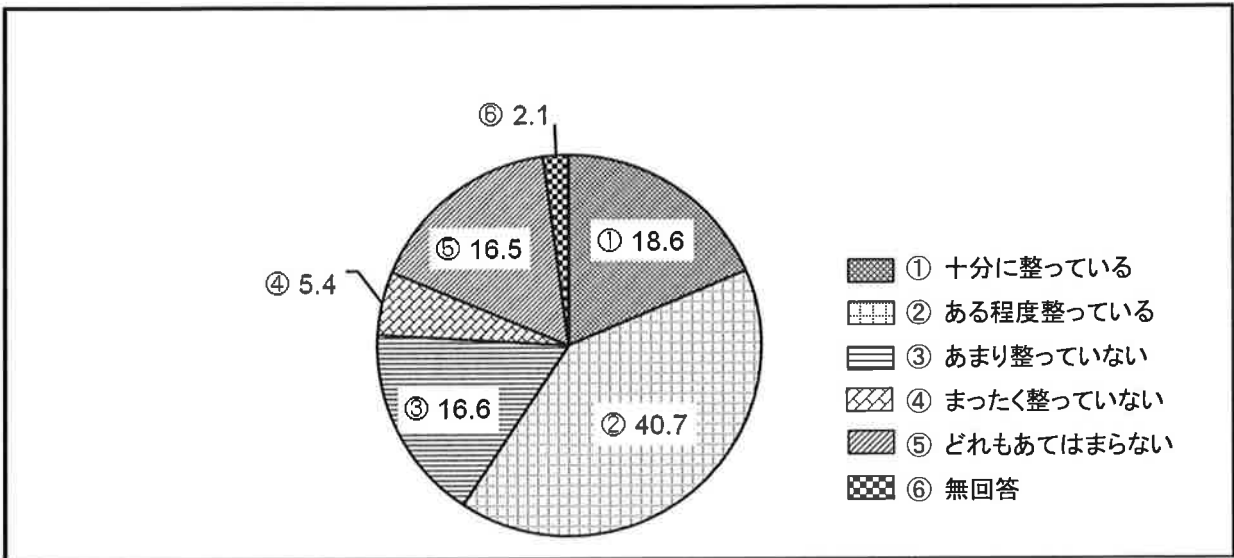
問 10-20 教師が研修に参加する費用

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	46	3.1%
② ある程度整っている	581	39.7%
③ あまり整っていない	539	36.8%
④ まったく整っていない	177	12.1%
⑤ どれもあてはまらない	107	7.3%
⑥ 無回答	13	0.9%



問 10-21 ALT などの指導者に関する費用

選 択 肢	回答数	N=1463
① 十分に整っている	272	18.6%
② ある程度整っている	596	40.7%
③ あまり整っていない	243	16.6%
④ まったく整っていない	79	5.4%
⑤ どれもあてはまらない	242	16.5%
⑥ 無回答	31	2.1%



**問 11 現在、外国語活動において、貴校で問題や課題であると感じていることはありますか。**

**下記の中であてはまるものがある場合には5つまで選び、優先度が高い順から1,2,3…というように[ ]に番号を書いてください。**

この質問では、優先度のもっとも高いものを5得点、以下4, 3, 2, 1得点として計算したものを合算して総得点とした。

外国語活動における問題や課題の総得点を高い順にみると、1位が「指導内容・方法」で3141得点、2位が「評価内容・方法」で2696得点、以下「指導者（担当教員）の質・技術」（2494得点）、「教員研修」（1415得点）、「教材・教具（英語ノート含む）」（1406得点）、「中学校との連携」（1248得点）、「高学年担当教員と中・低学年担当教員の活動に対する意識の差・違い」（1014得点）が続く。

問題や課題の数値は、「指導内容・方法」がもっとも多く60.7%、次いで「評価内容・方法」（56.1%）、「指導者（担当教員）の質・技術」（53.1%）、「教員研修」（37.6%）、「中学校との連携」（36.0%）、「教材・教具（英語ノート含む）」（33.1%）、「高学年担当教員と中・低学年担当教員の活動に対する意識の差・違い」（28.4%）が続く。優先度を加味した総得点の順位と数値とを比較しても、上位項目に大きな違いはなかった。

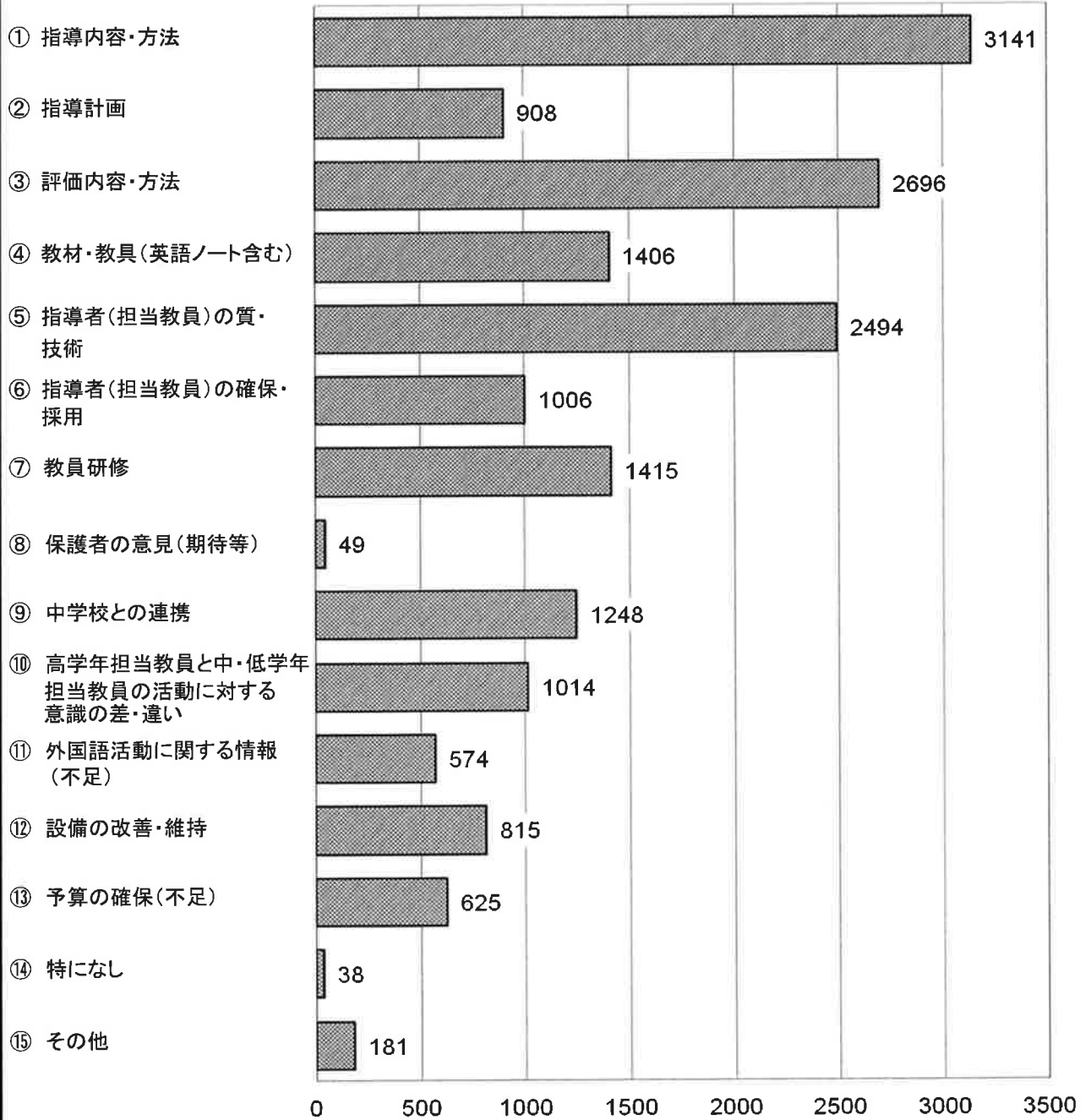
総得点による前年度結果を高い順にみると、今年度と同様「指導内容・方法」がトップで、「指導者（担当教員）の質・技術」「評価内容・方法」「指導計画」「教員研修」「教材・教具（英語ノート含む）」「指導者（担当教員）の確保・採用」「中学校との連携」の順だった。全体として大きな傾向は変わっていないが、「指導計画」が前年度の4位から今年度は9位と大きく順位が下がったのが目立った。これは必修化が実施され、指導計画が整備されたためとみられる。また、前年度2位の「指導者（担当教員）の質・技術」と同3位の「評価内容・方法」は、今年度は順位が入れ替わる結果となっている。

選 択 肢	総得点	<1>	<2>	<3>	<4>	<5>
① 指導内容・方法	3141	330	200	143	108	46
② 指導計画	908	52	73	62	59	52
③ 評価内容・方法	2696	216	209	168	109	58
④ 教材・教具（英語ノート含む）	1406	70	116	135	70	47
⑤ 指導者（担当教員）の質・技術	2494	201	196	148	95	71
⑥ 指導者（担当教員）の確保・採用	1006	96	63	56	35	36
⑦ 教員研修	1415	53	111	122	120	100
⑧ 保護者の意見（期待等）	49	2	1	7	3	8
⑨ 中学校との連携	1248	60	83	91	101	141
⑩ 高学年担当教員と中・低学年担当教員の活動に対する意識の差・違い	1014	55	58	82	79	103
⑪ 外国語活動に関する情報（不足）	574	24	29	47	66	65
⑫ 設備の改善・維持	815	47	69	51	54	43
⑬ 予算の確保（不足）	625	48	34	41	45	36
⑭ 特になし	38	7	0	0	0	3
⑮ その他 《 ⇒記述回答は p63 》	181	29	5	4	1	2

※ 優先度順に得点を付け集計 (<1>=5得点、<2>=4得点 ~ <5>=1得点)

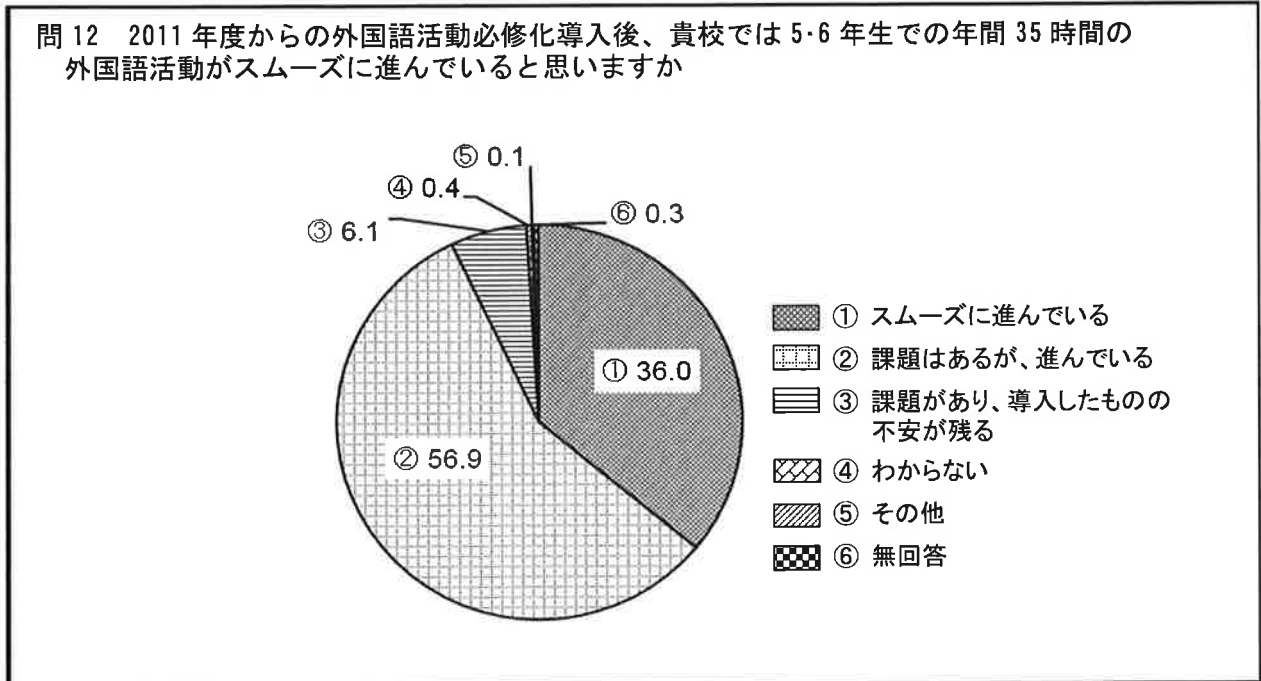
問 11 現在、外国語活動において、貴校で問題や課題であると感じていることはありますか

(総得点)



**問 12 2011 年度からの外国語活動必修化導入後、貴校では 5・6 年生での年間 35 時間の外国語活動がスムーズに進んでいると思いますか。あてはまるもの 1 つを選んでください。**

「スムーズに進んでいる」は 36.0%、「課題はあるが、進んでいる」が 56.9%と、90%を超える学校が「進んでいる」と回答しており、課題はあるものの、まずは順調に外国語活動必修化がスタートしたと言える。外国語活動の導入に関してはここに至るまで先行実施の期間があり、必修化に向けて様々な準備や取り組みをしてきた結果であると思われる。

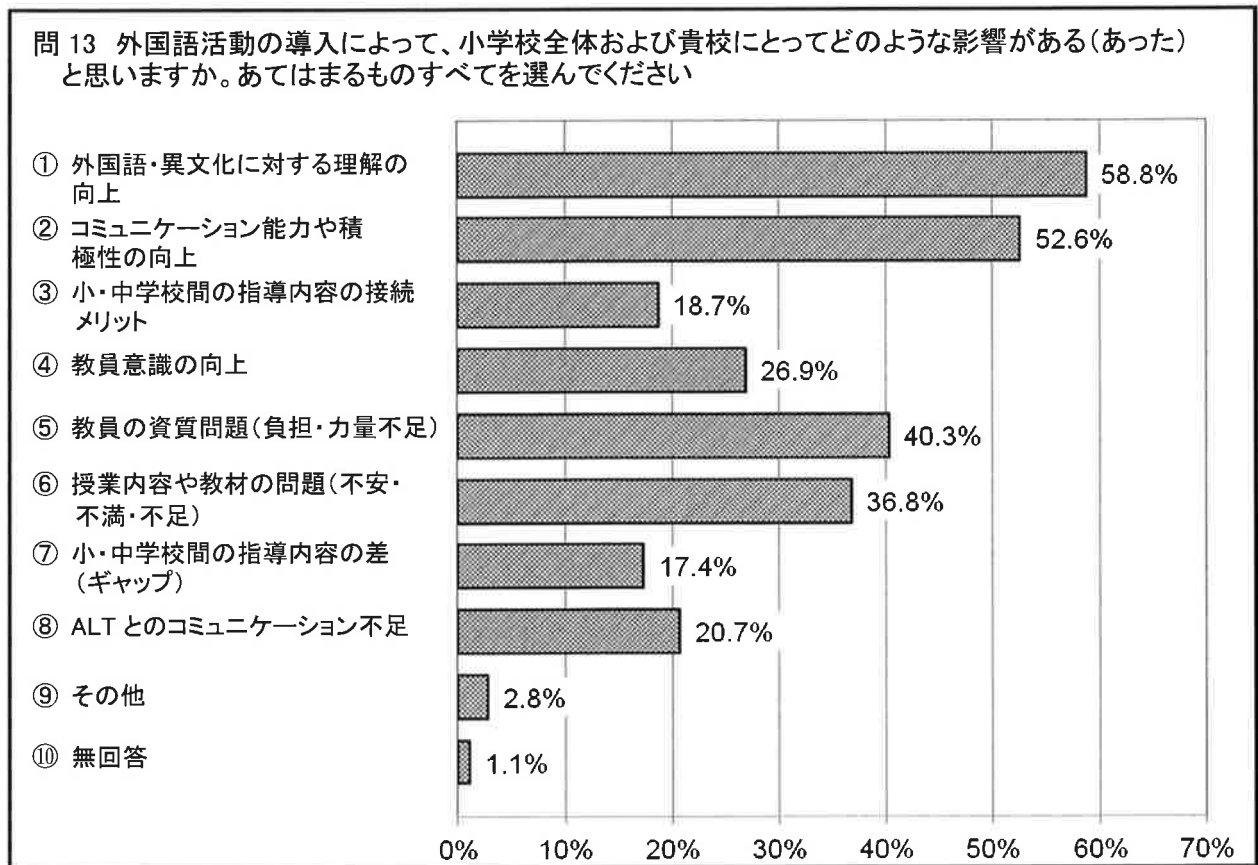




問 13 外国語活動の導入によって、小学校全体および貴校にとってどのような影響がある(あった)と思いますか。あてはまるものすべてを選んでください。

影響の最も大きかった項目は「外国語・異文化に対する理解の向上」で、約6割に当たる58.8%の学校が選んでいる。次いで「コミュニケーション能力や積極性の向上」(52.6%)、「教員の資質問題(負担・力量不足)」(40.3%)、「授業内容や教材の問題(不安・不満・不足)」(36.8%)、「教員意識の向上」(26.9%)、「ALTとのコミュニケーション不足」(20.7%)、「小・中学校間の指導内容の接続のメリット」(18.7%)、「小・中学校間の指導内容の差(ギャップ)」(17.4%)と続いている。

1、2位にランクされた2項目を見るかぎり、外国語活動によって外国語や異文化の理解、またコミュニケーション能力や積極性の向上という成果があり、特に児童にとってプラス効果が大きかったと考える学校が多いことを示している。



～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

財団法人日本英語検定協会 英語教育研究センター

担当: 小笠原 t-ogasahara@eiken.or.jp

/ 染谷 y-someya@eiken.or.jp

TEL:03-3266-6706 FAX:03-3266-6704